Canon

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター
全国共通電話番号　ナビダイヤル　0570ー01ー9000（商品該当番号:71）

受付時間：平日9:00 ～ 20:00
土･日･祝日10:00 ～ 17:00　（1月1日 ～ 1月3日を除く）

お電話がつながりましたら、音声ガイダンスに沿って、商品該当番号<71>または「デジタルカメラ」とお話しください。
全国64ヶ所の最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
自動車電話･PHSをご利用の方、海外からご利用の方は、043-211-9556をご利用ください。

※ 電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合は案内窓口におつなぎいたします。
※ 音声応答システム、受付時間、該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノン販売(株)販売窓口にてご購入ください。なお、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

修理サービスご相談窓口

同梱の「修理サービスご相談窓口」(別紙)でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社
http://canon.jp/bebit/

キヤノン販売株式会社　デジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/dc/

キヤノン販売株式会社　サポート
http://canon.jp/support/

Canon Image Gateway
http://www.imagegateway.net/

CDI-J084-010　XXXXXXXX

XXXXXXX

Canon　キヤノンデジタルカメラ　PowerShot A70/A60　カメラユーザーガイド

Canon

キヤノンデジタルカメラ

PowerShot A70
PowerShot A60
カメラユーザーガイド

CANON iMAGE GATEWAY　DiG!C

Exif Print
- 最初にp. 6の「ご使用の前に」をお読みください。
- ソフトウェアのインストールと画像の取り込み方法については、ソフトウェアクィックガイドをお読みください。
- 各プリンターに同梱されている使用説明書もお読みください。

このカメラでできること

撮影

- シャッターを押すだけで、簡単に撮影できるオート撮影から、多彩な機能を活用できるシャッター速度優先AE、絞り優先AEなど、思いどおりの撮影が楽しめます。
- 静止画のほか、動画も撮影できます。
- 露出補正、ホワイトバランス、色効果なども用途に合わせて変更できます。

再生

- 撮影した画像をその場ですぐに確認でき、必要なければすぐに削除できます。
- オートプレイ機能で画像を自動的に再生できます。

編集

- 撮影した画像に、音声メモを記録できます。
- 記録した動画を編集できます。

プリント

- カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ、別売)*や、カメラダイレクトBJプリンタ(別売)に接続し、手軽に高画質なプリントを得られます。

* カメラダイレクト対応のCPプリンターには、ダイレクトプリントマークが付いています。

- 撮影した画像は、従来の写真と同様に、プリント取扱店でデジタルプリントできます。また、インターネットを通じてオンラインプリントもできます。

撮影した画像の活用

- パソコンに画像を取り込んで、編集できます。
- 撮影した画像や音声は、カメラの起動画面や起動音、シャッター音として設定できます。
- インターネットを通じて、撮影した画像をアップロードして、オリジナルアルバムを作成できます。また、そのアルバムを友人やご家族にも公開できます。

			P	Tv	Av	M	参照先
○	△	○	○	○	○	–	103
○	○	○	○*	○*	○*	○*	101
–	–	–	○	○	○	○	
–	–	–	○	○	○	○	
○	△	○	○	○	○	○	105
○	△	○	○	○	○	○	109
–(5)	–(5)	–(5)	○	○	○	○(6)	111

アクセサリーについて
アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。
本デジタルカメラは、キヤノン純正のデジタルカメラ用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に、最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合の本デジタルカメラの修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

ガイドの使いかた

以下のガイドが用意されています。目的に合わせてお使いください。

クイックスタートガイド

- カメラの準備から撮影、再生、消去、プリント、ソフトウェアのインストール、パソコンとの接続、画像の取り込みまでの一連の基本的な使用方法

カメラユーザーガイド（本書）

- 撮影、再生、消去の操作方法
- パソコンとの接続方法
- カメラダイレクト対応プリンターとの接続方法とプリント方法

システムマップ

- 周辺機器との接続
- 同梱品・別売品の紹介

ソフトウェアクイックガイド

- 同梱のCD-ROMに収められている各ソフトウェアの主な機能
- パソコンに必要なシステム構成
- ソフトウェアのインストール方法
- カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法

ZoomBrowser EXソフトウェアガイド（Windows）/ ImageBrowserソフトウェアガイド（Macintosh）

- ZoomBrowser EX（Windows）の詳細な使いかた
- ImageBrowser（Macintosh）の詳細な使いかた

プリンターユーザーガイド(別売のカメラダイレクト対応プリンターに同梱)

- プリンターとカメラの接続方法
- ペーパーやインクカセットの入れかた
- プリンターやペーパー、インクカセットの取り扱い上のご注意

カードフォトプリンター CP-100/CP-10 プリンタードライバスタートガイド(別売のコンピューター接続キットに同梱)

- プリンタードライバのインストール方法
- プリンターとパソコンの接続方法

カードフォトプリンター CP-100/CP-10 プリンタードライバユーザーガイド(Windows/Macintosh)

- プリント方法

修理サービスご相談窓口

- 修理に関するお問い合わせ先

このガイドについて

表記について

見出しの下にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。この例では、撮影モードダイヤルがAUTO、P、Tv、Av、M、[ポートレート]、[風景]、[夜景]、[スポーツ]、[スティッチアシスト]、[連写]のときに、操作できます。

ストロボを使って撮る

AUTO P Tv Av M

：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：カメラを使用するにあたって知っておくと便利になること、参考になることを記載しています。

こんなときには

■メニュー操作のしかたがわからない：

メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

■撮影モードごとに設定できる機能がよくわからない：

■電源を切ると、設定の変更が保持されるのかわからない：

各撮影モードで設定できる機能一覧 ➔ p. 228

■プリントのしかたがわからない：

プリントについて ➔ p. 138

■利用できる機能にどんなものがあるかわからない：

FUNC.メニュー ➔ p. 173

撮影メニュー ➔ p. 175

再生メニュー ➔ p. 176

設定メニュー ➔ p. 178

マイカメラメニュー ➔ p. 182

上記の各ページは、見つけやすいように他のページとは異なるデザイン（ページの右側に網かけ）になっています。

見出しについて

カメラの準備から撮影、再生までの操作の流れを一覧できるよう、簡潔に説明しています。まず使ってみたいときには、こちらをご覧ください。

クイックスタート

カメラ各部の名称や使い始めるための準備、電源の入れ方、シャッターボタンの押し方などについて説明しています。また、カメラの起動画面や起動音、シャッター音の変更やCanon Image Gatewayについて説明しています。

準備・基本操作

撮影モードの選択からカメラまかせの撮影手順、目的に合わせた撮影手順など各種の撮影について説明しています。

撮　影

撮影した画像の再生や再生方法の設定、画像のプロテクト、画像の消去、動画の編集について説明しています。

再生・消去

撮影した画像をプリントする方法やプリント設定、メールで送信する画像の選択などについて説明しています。

プリント・送信

テレビを使って撮影/再生する手順、パソコンへの画像の取り込みについて説明しています。
カメラをパソコンに接続する前に、必ずこの説明をお読みください。

接　続

メニュー一覧、メッセージ一覧を掲載するほか、コイン電池の交換、電源キットの使い方、レンズの使い方などについて説明しています。

付　録

目次

は、このカメラの機能や操作をまとめてあります。また、これらのページは、見つけやすいように他のページとは異なるデザイン(ページの右側に網かけ)になっています。

ご使用の前に

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやCFカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

本体温度について

このカメラは、長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがあります。これは故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

液晶モニターについて

液晶モニターは非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

● ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
● 本文中の「本機器」とは、カメラ、電池、バッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターを指します。

警告 この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

注意 この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたい事柄を示します。記号の中の図は指示内容を意味します。（左図：電源プラグを抜く）

⚠ 警　告

● **カメラで太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。**視力障害の原因となります。

● **ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。**目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

● **本機器はお子様の手の届かないところに保管してください。**お子様が誤って本機器や電池を破損すると危険です。また、誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

● **カメラに使用しているコイン電池は、特に幼児の手の届かないところに置いてください。**万一、幼児が電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。

● **本機器を分解、改造しないでください。**高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。

● **落下などにより、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。**さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり、感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

● **煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。**火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ず電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

● **本機器を落としたり外装を破損した場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。**そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

● **本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。**カメラには防水処理が施されていません。水滴がかかったり、潮風にさらされたときには、吸水性のある柔らかい布で拭いてください。
万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

● **お手入れのときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。**火災の原因となります。

● **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。**ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

● **電源コードに重いものを乗せたり、傷つけたり、破損したり、加工しないでください。**漏電して、火災、感電の原因になります。

● **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**感電の原因になります。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などでコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

● **本機器専用以外の電源は使用しないでください。**発熱、変形して、火災、感電の原因になります。

● **電池を火に近づけたり、火の中に投げ込まないでください。**また、水の中に入れたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因になります。

● **電池を分解、改造したり、加熱しないでください。**破裂により、けがの原因となります。万一、電池の電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口に付いたときは、ただちに洗い流してください。

● **電池を落とすなどして強い衝撃を与えないでください。**外装が破損した場合、電池の液漏れにより、けがの原因になります。

● **キーホルダーなどの金属類で電池の「＋」と「－」の端子を接触（ショート）させないでください。**発熱し、やけど、けがの原因となります。

● **電池を廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。**廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。

● **指定された電池を使用してください。**それ以外のものを使用すると、電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

● **キヤノン製の単3形ニッケル水素電池およびバッテリーチャージャーをお使いください。**それ以外のものを使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因になります。

● **バッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。**長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●**コンパクトパワーアダプターの出力端子は、このカメラ専用です。**他の製品にはお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

●**別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズ、コンバージョンレンズアダプターを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。**緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。また、太陽などの強い光源を絶対に覗かないでください。失明する恐れがあります。

⚠ 注 意

●直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。 電池の液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となったり、機器外装が熱により変形することがあります。また、バッテリーチャージャーで充電する際は、風通しのよいところでお使いください。

●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。 火災、感電、故障の原因になることがあります。

●カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意してください。 けがや本体の故障の原因となることがあります。

●ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。 また、連続発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因になることがあります。

●ストロボ発光部分にゴミやほこりなど異物が付いたまま発光しないでください。 発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因になることがあります。

故障を防ぐためのご注意

■電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

■結露を防ぐために

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露(水滴)が発生することがあります。
カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れ、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

■結露が発生したときは

故障の原因になりますので、カメラをお使いにならないでください。
CFカード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、カメラをお使いください。

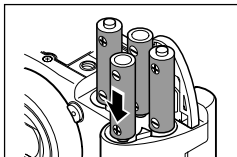
■長期間使用しないときは

電池をカメラやバッテリーチャージャーから取り出して、安全な場所に保存しておいてください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で、故障することがあります。

クイックスタート

1 電池を入れます ➔ p. 20

バッテリーカバー開放スイッチをスライドしてバッテリーカバーを開き、電池を入れます。

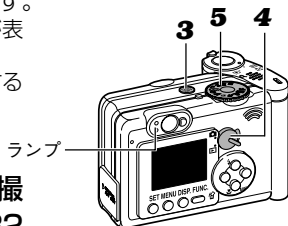
- 電池の取り扱いについて ➔ p. 21

2 CFカードを入れます ➔ p. 24

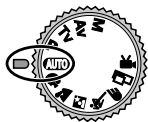
CFカードスロットカバーを開き、CFカードを差し込みます。

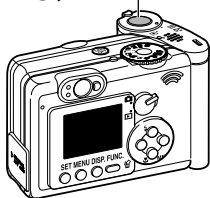
- CFカード取り出しボタンが飛び出すまで、しっかりと奥まで差し込みます。

3 メインスイッチを押して電源を入れます ➔ p. 30

ファインダー横のランプが緑色に点滅し始めるまで、メインスイッチを押し続けます。

- 日付/時刻の設定メニューが表示されたとき ➔ p. 26
- メニューの表示言語を変更するとき ➔ p. 28

4 モードスイッチを📷（撮影）に合わせます ➔ p. 32

5 撮影モードダイヤルを AUTO(オート)に合わせます ➔ p. 62

6 ピントを合わせます ➔ p. 40

写したいもの(被写体)にカメラを向け、シャッターボタンを軽く押します。ピントが合うと電子音が2回鳴ります。

7 撮影します ➔ p. 40

さらにシャッターボタンを深く押します。撮影が終了するとシャッター音が1回だけ鳴ります。

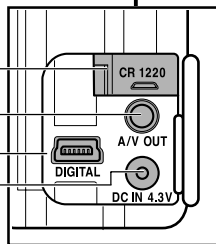
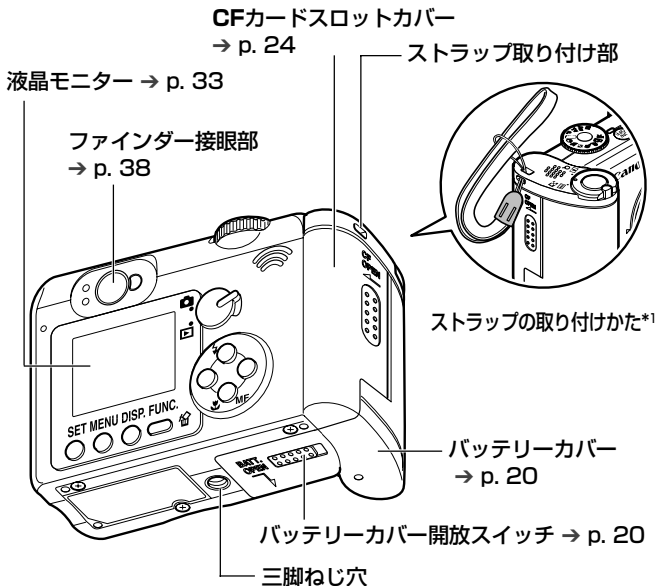
8 撮影した画像を見ます

撮影した画像が約2秒間表示されます。➔ p. 64
今までに撮影した画像を確認したいときは、「再生」(p. 119)をご覧ください。

表示画像をすぐに消去する

1 画像の表示中に、消去ボタンを押します
2 [消去]が選択されていることを確認し、SETボタンを押します

各部の名称

ズームレバー ➔ p. 42, 87, 120, 121
シャッターボタン ➔ p. 40
撮影モードダイヤル ➔ p. 19
メインスイッチ(ON/OFF) ➔ p. 30
スピーカー
ファインダー窓 ➔ p. 38
AF補助光投光部 ➔ p. 41
赤目緩和ランプ ➔ p. 70
セルフタイマーランプ ➔ p. 85
ストロボ ➔ p. 69
端子カバー
リング取り外しボタン
レンズ
リング
マイク
コイン電池ホルダー ➔ p. 193
A/V OUT(映像/音声出力)端子 ➔ p. 166
DIGITAL(デジタル)端子*2
DC IN(電源入力)端子 ➔ p. 197

*1 ストラップを下げているときは、カメラを振り回すような持ち方を避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

*2 カメラにパソコン、またはプリンターを接続するときに使用するケーブルは、以下の通りです。

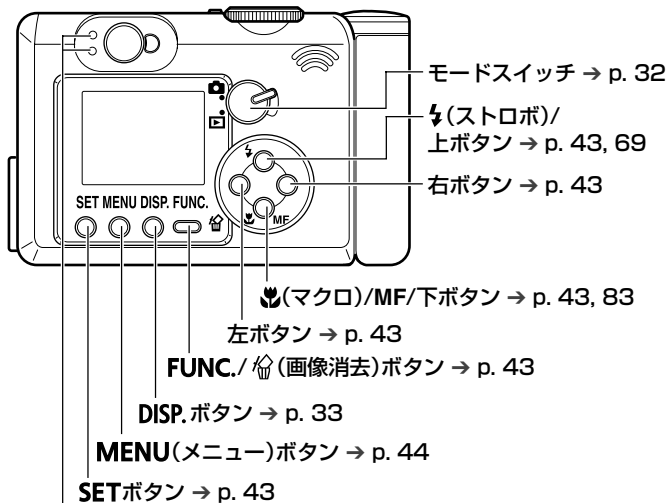
パソコン:USBインターフェースケーブル IFC-300PCU（カメラに同梱）

カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ、別売):

ダイレクトインターフェースケーブル DIF-100（カメラダイレクト対応プリンターに同梱）

カメラダイレクト対応BJプリンタ(別売):

BJプリンタの使用説明書でご確認ください。

このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンターについては、システムマップでご確認ください。

ランプ

メインスイッチまたはシャッターボタンを押したとき、ランプが点灯、点滅します。

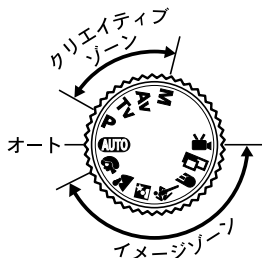
上側のランプ

緑点灯： 撮影準備完了/通信準備完了(パソコン接続時)
緑点滅： カメラ起動中/CFカードへ記録中/CFカードからの読み出し中/CFカードからの消去中/データ転送中(パソコン接続時)
橙点灯： 撮影準備完了(ストロボ発光)
橙点滅： 撮影準備完了(手ブレ警告)

下側のランプ

黄点灯： マクロ撮影/マニュアルフォーカス撮影
黄点滅： ピントが合いにくいとき(黄点滅でもシャッターは押せますが、フォーカスロックでピントを合わせて撮影してください。➔ p. 114)

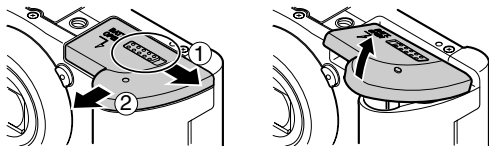
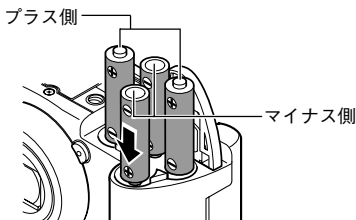
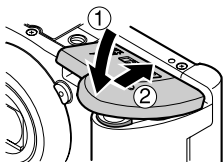
撮影モードダイヤル

撮影モードを選ぶときに使います。

- AUTO ：オート ➔ p. 62
  カメラまかせの撮影ができます。
- イメージゾーン
  被写体に合う条件をカメラまかせで設定し、撮影ができます。
  - ：ポートレート ➔ p. 72
  - ：風景 ➔ p. 73
  - ：夜景 ➔ p. 74
  - ：高速シャッター ➔ p. 75
  - ：スローシャッター ➔ p. 76
  - ：スティッチアシスト ➔ p. 77
  - ：動画 ➔ p. 81
- クリエイティブゾーン
  露出や絞りを変えるなど、思いどおりのさまざまな撮影ができます。
  - **P** ：プログラムAE ➔ p. 91
  - **Tv** ：シャッター速度優先AE ➔ p. 93
  - **Av** ：絞り優先AE ➔ p. 96
  - **M** ：マニュアル露出 ➔ p. 98

バッテリーを入れる

同梱の単3形アルカリ電池、または別売の単3形ニッケル水素電池を4本入れてください。

1 電源が切れていることを確認します

2 バッテリーカバー開放スイッチを矢印の方向にスライドさせ、バッテリーカバーを開きます

3 電池を図のように入れます

4 バッテリーカバーを閉じます

- ランプが緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録中/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、カメラの電源を切ったり、バッテリーカバーを開けないでください。

- 長時間お使いになる場合は、別売のACアダプターキットACK600をご使用ください。➔ p. 197
- 別売のバッテリー/チャージャーキットをお使いになると、単3形ニッケル水素電池を使用することもできます。➔ p. 195
- 電池性能について ➔ p. 216
- お使いになれるバッテリー/チャージャーキット、単3形ニッケル水素電池については、システムマップ(別紙)をご覧ください。

電池の取り扱いについて

- このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、単3形ニッケル水素電池です。単3形ニッケル水素電池は、キヤノン製のものをお使いください。単3形ニッケル水素電池の取り扱いについては、「充電式バッテリーを使う(p. 195)」をご覧ください。
- マンガン電池やリチウム電池は発熱の恐れがありますのでお使いになれません。
- アルカリ電池は、銘柄により容量や特性に差があるため、付属のアルカリ電池に比べ、電池の使用可能時間が短い場合があります。
- アルカリ電池は、低温下では使用可能時間が短くなります。またアルカリ電池の特性上、ニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノンの単3形ニッケル水素電池(4本セット)をお使いになることをおすすめします。
- 単3形ニカド電池はお使いになれますが、性能のばらつきがあるためおすすめできません。

- 新しい電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。
- 電極((+)と(−))を逆にして入れないでください。
- メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていると、記録画像数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。
- 低温下では電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります(特にアルカリ電池の場合)。このようなときは、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。この際、ポケットにキーホルダーなどの金属類は入れないでください。電池がショートする恐れがあります。
- 長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

⚠警告

外装シールが(一部または全体に関りなく)剥がれている電池や破損している電池を使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

以下のような形状の電池はご使用になれません。

外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池
(裸電池)

プラス電極が平らである電池

マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

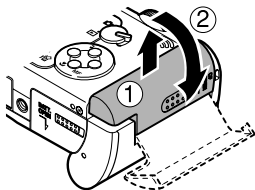
電池残量について

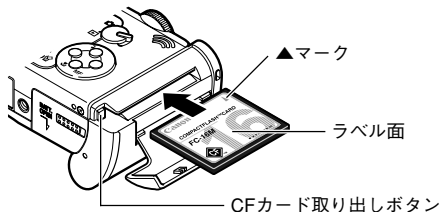
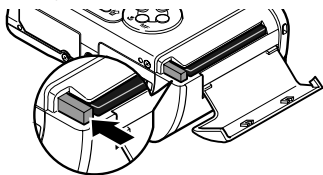
電池残量が低下すると、以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

▮	電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、新しい電池を使用するか、早めに充電してください。 液晶モニターが消えているときは、DISP.ボタン、⚡ボタン、🌷/MFボタンのいずれかを押すと、表示されます。
バッテリーを交換してください	電池の残量が少なく、動作不能です。直ちに電池を交換してください。

CFカードを入れる

1 電源が切れていることを確認します

2 CFカードスロットカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます

3 CFカードのラベル面を手前にして差し込みます

- CFカード取り出しボタンが飛び出すまで、しっかりと奥まで差し込みます。

- CFカードを取り出すときは、CFカード取り出しボタンを押します。

4 CFカードスロットカバーをしっかりと閉じます

- ファインダー横のランプが緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、絶対に次のことは行わないでください。画像データが壊れることがあります。
  - カメラ本体に振動や衝撃を与える。
  - カメラの電源を切ったり、CFカードスロットカバーを開ける。
- 他社のカメラ、または他のアプリケーションソフトウェアで編集したCFカードを使用すると、誤動作する恐れがありますのでご注意ください。

- CFカードの種類と記録画像数の目安について ➔ p. 217

CFカードについて

- CFカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。
- CFカードを分解したり、改造しないでください。
- 温度差の大きな場所へ急に移動すると、CFカードに水滴が付き（結露）、故障の原因になることがあります。結露を防ぐには、移動の前にビニール袋に入れて密閉しておき、周囲の温度に十分慣らしてからお使いください。
  結露したときは、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。
- CFカードは、下記の場所で使用したり、保管しないでください。

  ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  高温多湿の場所

日付/時刻を設定する

はじめてカメラの電源を入れたとき、または、コイン電池の残量が低下したときは、日付/時刻の設定画面が表示されます。コイン電池を交換後、手順5から操作してください。

1 メインスイッチを押して、電源を入れます

→ p. 30

2 MENUボタンを押します

- [(撮影)]メニューまたは[(再生)]メニューが表示されます。

これは[(撮影)]メニューです。

3 左/右ボタンで[(設定)]メニューを選びます

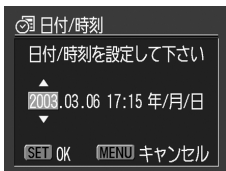
4 上/下ボタンで（日付/時刻）を選び、SETボタンを押します

5 日付と時刻を設定します

- 左/右ボタンで、設定したい項目を選びます。
- 上/下ボタンで、設定内容を変更します。
- 2030年まで設定できます。

6 SETボタンを押します

- 設定後、MENUボタンを押して操作を終了します。

準備・基本操作

- 日付/時刻を設定しても、画像自体に日付/時刻を入れることはできません。
- 日付を入れてプリントしたいとき。➔ p. 148
- コイン型リチウム電池を交換する ➔ p. 193

言語を設定する

液晶モニターのメニューやメッセージの表示言語を設定します。

1 メインスイッチを押して、電源を入れます

→ p. 30

2 MENUボタンを押します

- [(撮影)]メニューまたは[(再生)]メニューが表示されます。

これは[(撮影)]メニューです。

3 左/右ボタンで[(設定)]メニューを選びます

4 上/下ボタンで(言語)を選び、SETボタンを押します

5 上/下/左/右ボタンで言語を選びます

6 SETボタンを押します

- 設定後、MENUボタンを押して操作を終了します。

かんたん操作

- カメラが再生モードのときは、SET ボタンを押しながらMENUボタンを押すと、言語設定画面をすぐに表示できます(動画再生時、または別売のカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)およびカメラダイレクト対応BJプリンタ接続時は設定できません)。

準備・基本操作

基本操作

電源を入れる

1 緑色のランプが点滅するまで、メインスイッチを押します

撮影モードのとき

- 液晶モニターに撮影情報が約6秒間表示されます。

- モードスイッチを▶に合わせ、約1分経過するとレンズは収納されます。

再生モードのとき

- 液晶モニターに撮影した画像が表示されます。

電源を切る

- 電源を切るときは、もう一度メインスイッチを押します。

- 電源を入れると起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます。（起動音、起動画面を変更する ➔ 下記、p. 52、p. 182）
- 撮影モード時に液晶モニターが非表示になっているときや、カメラのA/V OUT端子をテレビに接続しているときは、起動画面は表示されません。

起動画面と起動音を消すには

SETボタンを押しながら、電源を入れます。

節電機能について

カメラには節電機能が付いています。節電機能が[入]のとき、節電機能が働いて電源が切れたときは、再度メインスイッチを押します。

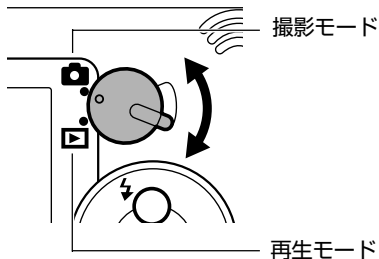
撮影時：約3分間、何も操作しないと電源が切れます。節電機能を[切]にしている場合でも、液晶モニターをつけて、約3分間何も操作をしないと、液晶モニターは消えます。このとき、メインスイッチ以外のいずれかのボタンを押すと、再び液晶モニターがつきます。

再生時： 約5分間、何も操作しないと電源が切れます。

プリンター接続時：約5分間、カメラの操作を何もせず、またプリンターで何もプリントしないと、電源が切れます。

- オートプレイで自動再生中、およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。➔ p. 131、168
- 設定メニューで節電機能を無効にすることもできます。➔ p. 179

撮影/再生を切り換える

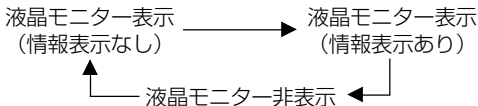
撮影モードと再生モードを素早く切り換えることができます。撮影直後に画像を確認、消去ができ、またすぐに撮影に戻ることができるので便利です。

撮影モードから再生モードに切り換えた場合、一定時間レンズは収納されません。

液晶モニターの使いかた

画像を確認しながら撮影するときや、メニュー操作、画像を再生するときは、液晶モニターを使います。

- 太陽や強い光があたると液晶モニターの表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。

撮影モードのとき

- DISP.ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、カメラの電源を切っても記憶され、次回電源を入れたとき、直前の状態で使用できます。ただし、液晶モニターをつけて撮影しているとき、「バッテリーを交換してください。」というメッセージが表示された場合は、次回電源を入れたときに、液晶モニターがつかないことがあります。
- 液晶モニター表示(情報表示なし)や、液晶モニター非表示でも、撮影の設定を変更した場合などは、液晶モニターに情報が約6秒間表示されます。（その時のカメラの設定内容によって表示されないこともあります。）
- 、モードにしたときは、設定に関わらず、液晶モニターが表示されます。

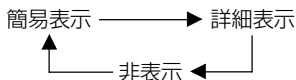
- 撮影準備完了時に、上側のランプが橙色に点滅し、液晶モニターに手ブレ警告アイコン( )が表示された場合は、ストロボをオートまたは常時発光にするか、三脚などでカメラを固定して操作してください。

再生モードのとき

- モードスイッチを ▶ に合わせると、液晶モニターがつきます。
- DISP.ボタンを押すごとに、情報表示の切り換えができます。

シングル再生時(1画像再生)

インデックス再生時(9画像再生)

簡易表示 ◀──▶ 非表示

液晶モニターに表示される情報

撮影や再生時、カメラの設定状態や撮影可能画像数、撮影日時などが表示されます。

撮影モードのとき

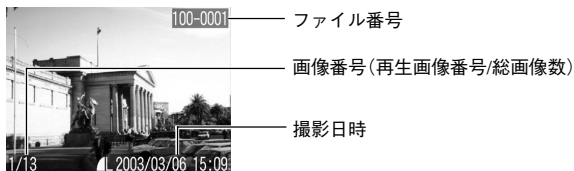
情報表示のときは、次の情報が表示されます。

AUTO P Tv Av M	撮影モード	p. 19
-2 ··· +2	露出補正	p. 103
	ホワイトバランス	p. 105
	ドライブモード	p. 85/89
ISO 50 ISO 100 ISO 200 ISO 400	ISO感度	p. 111
V N LS S BW	色効果	p. 109
	測光方式	p. 101
S	圧縮率	p. 66
(PowerShot A70) **L M1 M2 S** 640 320 160 (PowerShot A60) **L M S** 320 160	記録画素数	p. 66
A	ストロボ	p. 69
	赤目緩和	p. 70
	マクロモード	p. 83
MF	マニュアルフォーカス	p. 116
●（赤）	動画撮影	p. 81
(PowerShot A70) 3.8× 4.8× 6.0× 7.4× 9.6× (PowerShot A60) 3.8× 4.7× 6.0× 7.5×	デジタルズーム倍率*	p. 87
	手ブレ警告	p. 34
	バッテリー残量低下	p. 23

- ［網掛け］のアイコンは、情報表示なしのときも表示されます。
- これら以外に図のように、AF枠、スポット測光枠(**P**、**Av**、**Tv**モード時)、シャッター速度・絞り数値(**Av**、**Tv**、**M**モード時)、記録可能画像数または動画記録可能時間が表示されます。

* 光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率です。デジタルズーム時に表示されます。

再生モードのとき

- 簡易表示では、次の情報が表示されます。

	圧縮率	p. 66
(PowerShot A70) **L M1 M2 S** (PowerShot A60) **L M S**	記録画素数（静止画）	p. 66
	WAVE形式の音声メモ	p. 129
AVI	動画	p. 123
	プロテクト情報	p. 132

詳細表示では、さらに次の情報が表示されます。

(撮影モードアイコン)	撮影モード	p. 19
-2 ･･･ ±0 ･･･ +2	露出補正	p. 103
AWB (ホワイトバランスアイコン)	ホワイトバランス	p. 105
(色効果アイコン)	色効果	p. 109
ISO 50 ISO 100 ISO 200 ISO 400	ISO感度	p. 111
(ストロボアイコン)	ストロボ	p. 69
(マクロアイコン)	マクロモード	p. 83
MF	マニュアルフォーカス	p. 116
(測光方式アイコン)	測光方式	p. 101
(PowerShot A70) 640 320 160 (PowerShot A60) 320 160	記録画素数（動画）	p. 66

- これら以外に図のように、シャッター速度、絞り数値、動画記録時間が表示されます。

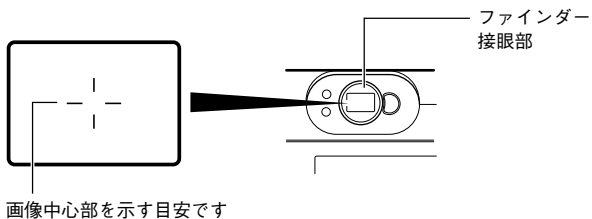
画像によっては、以下の情報が表示されることがあります。

♪?	WAVEファイル以外の音声ファイル、または、認識できないファイルが付いています。
▲	DCFの規格に対応していないJPEGファイルです。
RAW	RAW形式のファイルです。
?	認識できない画像データです。

- このカメラで撮影した画像を他のカメラで再生する場合、あるいは他のカメラで撮影した画像を、このカメラで再生する場合、情報を正しく表示できないことがあります。

ファインダーを使って撮る

液晶モニターを非表示にし(p. 33)、ファインダーを使って撮影すると、消費電力を抑えることができます。

1 写したいもの(被写体)に中央の枠(オートフォーカス範囲)を合わせて撮影します

オートフォーカスについて

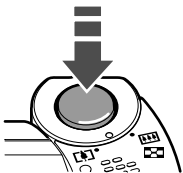
- このカメラのオートフォーカス機能は、AiAF*を採用しています。
  AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピント合わせを的確に判断します。ピントを合わせたい被写体が中央部から多少はずれている場合でも、目的の被写体にピントを合わせます。

  * Ai＝Artificial intelligence：人工知能
    AF＝オートフォーカス

ファインダーで見える範囲と撮影範囲との違いについて

- ファインダーを使って撮影する場合は、ファインダーの特性上、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲にズレ（パララックス）が生じます。特に、被写体の距離が近い場合には、パララックスが大きくなり、ファインダーで見える範囲でも撮影されない場合があります。マクロモードでは、液晶モニターを使って撮影してください。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは、半押しと全押しの2段階で動作します。

半押し …… 浅く押したとき

露出、フォーカス、ホワイトバランスが自動設定されます。

ランプで設定状態がわかります。

上側のランプ

- 緑点灯：撮影準備完了
  （電子音が2回鳴ります。）
- 橙点灯：ストロボ発光
- 橙点滅：手ブレ警告/露出不足

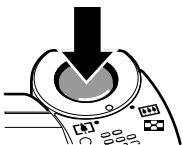
下側のランプ

- 黄点灯：マクロ撮影/マニュアルフォーカス撮影
- 黄点滅：ピントが合いにくいとき*
  （電子音が1回鳴ります。）

* 黄点滅したときは、フォーカスロック、またはマニュアルフォーカスを使って撮影してください。➔p. 114

AF枠

AF枠は、次のようになります。（液晶モニターがついているとき）

- 緑色：撮影準備完了
- 黄色：ピントが合いにくいとき（AiAFが[切]のとき ➔ p. 100）

全押し …… 深く押したとき

撮影します。

- 撮影が終了するとシャッター音が鳴ります。シャッター音が鳴るまでカメラを動かさないでください。
- CFカードに記録中はランプが緑色に点滅します。

- シャッターボタンを半押ししたときに、橙色、または黄色のランプが点滅していても、そのまま全押しして撮影できます。
- 撮影した画像は、いったん内部メモリーに保存され、順次CFカードに書き込まれていきます。内部メモリーに空きがある間は、撮影後、すぐに次の撮影ができます。
- 電子音、シャッター音の[入/切]は、メニューで設定できます。 ➔ p. 178
- シャッター音を[切]にしていても、電子音を[入]に設定している場合は、全押しするとピッという電子音が1回鳴ります。
- 動画撮影時は、シャッター音は鳴りません。
- ストロボ充電中は撮影できません。

AF補助光について

- 暗い場所などでシャッターボタンを半押ししたときは、ピントを合わせやすくするために、AF補助光投光部が光ることがあります。
- AF補助光を切ることもできます。➔ p. 176
  例えば、暗い場所で動物を撮るときなど、AF補助光で動物を驚かせて逃がすことなく撮影できます。
  ただし、以下のことに注意してください。
  - AF補助光を切ると、ピントが合いにくくなることがある
  - AF補助光を切っても、シャッターボタンを半押しすると、赤目緩和ランプが光ることがある

  ストロボ発光前になにも光らないようにするには、撮影メニューの赤目緩和機能を[切]、AF補助光を[切]にしてください。

ズームを調節する

35mmフィルム換算で、35～105mmの範囲で画角を調節できます。

望遠/広角

[広角アイコン]：被写体を小さく写します（広角）
[望遠アイコン]：被写体を大きく写します（望遠）

デジタルズーム

液晶モニターがついているときは、光学ズームと合わせてPowerShot A70では最大約9.6倍に、PowerShot A60では最大7.5倍に拡大して撮影できます。➔ p. 87

- 撮影モードによって、デジタルズームが使えないことがあります。➔ p. 228

- デジタルズームは、拡大するほど画質が粗くなります。

メニューの選択と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、日付/時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って操作します。メニューを表示させるには、**FUNC.**ボタンを押す場合と、**MENU**ボタンを押す場合があります。液晶モニターを見ながら、次のように操作してください。

FUNC.ボタンを押して設定する(撮影モードのときのみ)

1 FUNC.ボタンを押します

- 液晶モニターの左端に、変更可能な設定のアイコンが表示されます。
- アイコンは、その時設定されている内容が表示されます。

2 上/下ボタンを押して、メニュー項目を選びます

3 左/右ボタンを押して、設定したい内容を選びます

- メニューによっては、**SET**ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度**SET**ボタンを押して、設定内容を確認します。

準備・基本操作

4 FUNC.ボタンを押します

- メニューが終了します。
- 手順3のあと、すぐにシャッターボタンを押して選んだ設定で撮影することもできます。

MENUボタンを押して設定する

1 MENUボタンを押します

- カメラが撮影モードのときは[(撮影)]メニューが表示され、再生モードのときは[(再生)]メニューが表示されます。

2 左/右ボタンでメニューを切り換えます

- メニューは次のように切り換わります。
[(撮影)]または[(再生)]↔[(設定)]↔[(マイカメラ)]
- ズームレバーでも、同様にメニューの切り換えができます。

3 上/下ボタンでメニュー項目を選びます

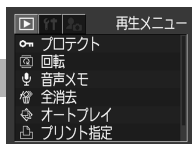
4 左/右ボタンで設定したい内容を選びます

- 「...」のある項目では、SETボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度SETボタンを押して設定内容を確定します。
  また、「...」のある項目では、左/右ボタンのほかに、上/下ボタンでも項目を選択できる場合があります。

5 MENUボタンを押します

- メニューが終了します。
- 撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。

メニューの選択と設定のしかた(つづき)

● 各モードによって選べる項目は異なります。

切り換え　　設定と確定　終了

設定メニュー*

マイカメラ*メニュー

* ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

メニュー設定項目と初期設定

各メニューで設定できる項目と初期設定は、次の通りです。

FUNC.ボタンで設定できる項目

メニュー項目	設定内容	参照先
露出補正	-2 ～ +2	103
ストロボ発光量	小*/中/大	113
ホワイトバランス	AWB*/☀/☁/💡/蛍光灯/蛍光灯H/カスタム	105
ドライブモード	□*/連続/10秒/2秒	85/89
ISO感度	AUTO/50*/100/200/400	111
色効果	OFF*/V/N/LS/S/BW	109
測光方式	評価測光*/中央重点/スポット測光	101
記録画素数、圧縮率	（静止画）（PowerShot A70） **L***/**M1**/**M2**/**S** （PowerShot A60） **L***/**M**/**S** （動画） （PowerShot A70） 640/320*/160 （PowerShot A60） 320*/160 （圧縮率）S/F*/N	66

*初期設定

MENUボタンで設定できる項目

メニュー項目		設定内容	参照先
撮影メニュー（赤）	AiAF	入*/切	100
	赤目緩和機能	入*/切	70
	AF補助光	入*/切	176
	デジタルズーム	入 /切*	87
	撮影の確認	切 / 2秒* 〜 10秒	65
再生メニュー（青）	プロテクト	プロテクトを設定します。	132
	回転	回転して表示します。	128
	音声メモ	画像に音声メモを設定します。	129
	全消去	すべての画像を消去します。	134
	オートプレイ	自動再生します。	131
	プリント指定	プリント指定をします。	155
	送信指定	送信指定をします。	164

*初期設定

メニュー項目		設定内容	参照先
設定メニュー(黄)	電子音	入* / 切	178
	節電	入* / 切	179
	日付/時刻	日付/時刻を設定します。	26
	カードの初期化	CFカードを初期化します。	135
	シャッター音量	切 / 1 / 2*/ 3 / 4 / 5	179
	再生音量	切 / 1 / 2*/ 3 / 4 / 5	180
	起動音量	切 / 1 / 2*/ 3 / 4 / 5	180
	操作音量	切 / 1 / 2*/ 3 / 4 / 5	180
	セルフタイマー音	切 / 1 / 2*/ 3 / 4 / 5	180
	番号リセット機能	入 / 切*	117
	距離表示	m/cm* / ft/in	181
	言語	English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 汉语 / 日本語*	28
	ビデオ出力方式	NTSC* / PAL	182
マイカメラメニュー(紫)	セット	切 / 1* / 2 / 3	52/182
	起動画面	切 / 1* / 2 / 3	52/183
	起動音	切 / 1* / 2 / 3	52/183
	操作音	切 / 1* / 2 / 3	52/183
	セルフタイマー音	切 / 1* / 2 / 3	52/183
	シャッター音	切 / 1* / 2 / 3	52/184

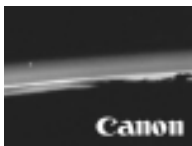
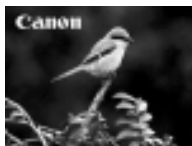
*初期設定

- 撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。
  ➔ p. 228
- マイカメラメニューの設定内容「2」と「3」には、好きな画面や音を登録できます。詳しくは「マイカメラコンテンツを登録する（p. 55）」、またはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。
- ［日付/時刻］、［言語］、［ビデオ出力方式］以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、初期設定に戻すことができます。
  ➔ p. 184

カメラをカスタマイズする(マイカメラ機能)

カメラの起動画面や起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。このカメラでは起動画面や音をそれぞれ3種類から選べます。

例：起動画面

[1]

[2]

[3]

初期設定時は、マイカメラコンテンツの[2]には、SF関連、[3]には動物関連のコンテンツが入っています。

マイカメラコンテンツを変更する

1 メインスイッチを押して、電源を入れます

→ p. 30

2 MENUボタンを押します

- [(撮影)]メニューまたは[(再生)]メニューが表示されます。

3 左/右ボタンで[(マイカメラ)]メニューを選びます

4 上/下ボタンでメニュー項目を選びます

5 左/右ボタンで設定したいコンテンツを選びます

6 MENUボタンを押します

- MENUボタンを押すとメニューが終了し、設定が有効になります。
- 撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。

- 手順4で[セット]を選ぶと、[起動画面]、[起動音]、[操作音]、[セルフタイマー音]、[シャッター音]のすべてを同じテーマで選択できます。
- [起動音]、[操作音]、[セルフタイマー音]、[シャッター音]を[(切)]に設定していても、[(設定)]メニューの[電子音]が[入]になっているときは、電子音が鳴ります。
➔ p. 178

マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの[2] [3]には、CFカードに記録してある画像、新たに録音した音声をマイカメラコンテンツとして、その場ですぐにカメラに登録できます。また、同梱のソフトウェアを使ってパソコンにある画像や音声を登録したり、Canon Image Gateway (オンラインフォトサービス ➔ p. 60)から、同梱のソフトウェアを通じて、コンテンツをお使いのパソコンにダウンロードし、それをカメラに登録することもできます。
コンテンツを登録できる項目は、次のとおりです。

- 起動画面
- 起動音
- 操作音
- セルフタイマー音
- シャッター音

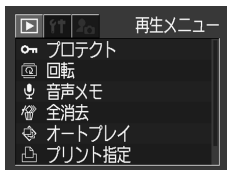
CFカード内の画像や音声を登録する

1 メインスイッチを押して、電源を入れます ➔ p. 30

2 モードスイッチを▶に合わせます

- 再生モードになります。

3 MENUボタンを押します

- [▶(再生)]メニューが表示されます。

4 右ボタンで[（マイカメラ）]メニューを選びます

5 上/下ボタンで登録したいメニュー項目を選びます

6 右/左ボタンでまたはを選びます

- DISP が表示されます。

7 DISP.ボタンを押します

- 画面が表示されます。

[起動画面]→手順8a、9a
[起動音][シャッター音][操作音][セルフタイマー音]
→手順8b、9b

8a 左/右ボタンで登録したい画面を選びます

9a SETボタンを押します

8b 左/右ボタンで ● (録音)を選び、SETボタンを押します

- 録音が開始されます。
- 一定時間が経過すると、自動的に録音が終了されます。
  起動音：1秒　　操作音：0.3秒
  セルフタイマー音：2秒　　シャッター音：0.3秒

9b 左/右ボタンで (登録)を選びます

準備・基本操作

10 左/右ボタンで[OK]を選び、**SET** ボタンを押します

- 動画、音声メモ機能(p. 129)で記録した音声は、マイカメラコンテンツに登録できません。
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

マイカメラコンテンツのファイルフォーマット

マイカメラコンテンツは、以下のファイルフォーマットにしたがっていることが必要です。ただし、このカメラで撮影したCFカード内の画像は、下記フォーマットに関係なく、登録できます。

- 起動画面
  - 記録画像フォーマット　JPEG　(ベースライン JPEG)
  - サンプリングレート　4：2：0 または 4：2：2
  - 画像サイズ　320×240画素
  - ファイル容量　20KB以下

● 起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

- 記録フォーマット　　　WAVE(モノラル)
- 量子化ビット　　　　　8bit
- サンプリング周波数　　11.025kHzまたは8.000kHz
- 記録時間

	11.025kHz	8.000kHz
起動音	1.0秒以下	1.3秒以下
操作音	0.3秒以下	0.4秒以下
セルフタイマー音	2.0秒以下	2.0秒以下
シャッター音	0.3秒以下	0.4秒以下

上記フォーマット以外のファイルは、カメラに登録できません。

たとえば、[セルフタイマー音]で、「はい、チーズ！」などの掛け声を登録すると、シャッターが切れる2秒前にカメラが発声し、また他にもさまざまな音をお楽しみいただけます。陽気なリズムの音楽を登録すれば、目元もほころび、自然な笑顔を撮影できるかもしれません。演奏に合わせてポーズを決めるのも、マイカメラならではの撮影方法です。

マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、同梱のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

Canon Image Gatewayを活用する

このカメラをお買い求めになられた皆様には、「Canon Image Gateway」から、以下のようなオンラインフォトサービスをご利用いただけます。最新のサービス内容は、http://www.imagegateway.net/でご確認いただけます。

サービスを利用するときは、まず会員登録(オンライン登録：無料)が必要です。登録方法については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

＊ インターネットに接続できる環境(プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み)が必要です。
＊ プロバイダとの接続料金およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は別途かかります。

Canon Image Gatewayに接続してできること

●バージョンアップ情報の電子メール配信サービスの利用

お使いのメールアドレスへ、カメラのファームウェアバージョンアップやソフトウェアのバージョンアップに関する最新情報が配信されます。

●オンラインアルバムサービスの利用(無料)

画像をCanon Image Gatewayにアップロードし、ネット上に自分のアルバムを作成できます。画像に付けたコメントや音声などをアップロードすることもできますので、個性的なアルバムを作れます。また、作成したアルバムは、お友達やご家族に公開できます。

●携帯電話アルバム通知・閲覧サービスの利用(無料)

Canon Image Gatewayに作成したアルバムを公開するお知らせメールを携帯電話に送り、そこに案内されているURLから、携帯電話でもオンラインアルバムを見ることができます。お使いの携帯電話に合わせて、画像の大きさや色数が自動的に調整されます。なお、携帯電話からアルバムを見る場合は、カラー表示が可能な携帯電話をご利用ください。

＊通信料金はご使用された方のご負担となります。

●マイカメラコンテンツのダウンロード(無料)
マイカメラコンテンツをダウンロードし、カメラに登録できます。Canon Image Gatewayには、多彩なコンテンツが用意されていますので、お好きなものをダウンロードしてください。(コンテンツは随時更新されますので、時々確認してみてください。)ダウンロードしたコンテンツを、カメラに登録することができ、ご自分だけのオリジナルカメラを楽しめます。

●オンラインプリントサービスの利用(有料)
オンラインアルバムの画像はインターネットから、24時間いつでもプリントを注文できます。プリントは提携のプリントショップから指定の場所に配送されます。また、代金は、クレジットカードもしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って(コンビニ決済)、簡単にお支払いいただけます※。公開されたアルバムを見たお友達やご家族の人たちも注文できます。プリントサイズはDP判、L判、2L判、A4判、A3判、ポストカードサイズに対応しており、また携帯電話からもプリントを注文できます。

※ご利用いただけないコンビニエンスストアもあります。また、別途、手数料と消費税がかかります。

●オリジナル写真集(マイブック)作成サービスの利用(有料)
Canon Image Gatewayのオンラインアルバムをプリント／製本して、本格的なオリジナル写真集を注文できます。公開されたアルバムを見たお友達やご家族の人たちも注文できます。2種類のアルバムサイズを選択でき、また、1冊でも注文できます。なお、代金はクレジットカードもしくはコンビニ決済でお支払いいただけます※。

※ご利用いただけないコンビニエンスストアもあります。また、別途、手数料と消費税がかかります。

●ホームプリンティングサービスの利用(無料)
画面上のボタンを押すだけで、公開されたオンラインアルバム上のお好きな画像を、ご自身だけでなく、公開通知を受けたお友達やご家族もキヤノン製プリンタで印刷できます。あらかじめ画像データをダウンロードして、プリント用紙サイズに合わせてレイアウトするといった面倒な操作は一切不要です。ただし、事前にプラグインモジュールをCanon Image Gatewayからダウンロードして、パソコンにインストールする必要があります。

撮影 - カメラまかせの簡単撮影

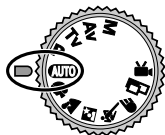
各撮影モードで、どのような設定が変更できるかは、巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 228)」をご覧ください。

AUTO オートで撮る

AUTO

シャッターボタン以外の操作をする必要がなく、カメラまかせの撮影ができます。

1 撮影モードになっていることを確認します
→ p. 32

2 撮影モードダイヤルを AUTO にします

3 被写体にカメラを向けます

4 ズームレバーで画角(画面内の被写体の大きさ)を決めます

5 シャッターボタンを半押しします ➔ p. 40

- シャッターボタンを押してピントを合わせます。撮影準備が完了すると、電子音が2回鳴り、インジケーターが緑色または橙色に点灯します。液晶モニターがついているときは、AF枠が緑色になります。
- ピントが合いにくいときは、電子音が1回鳴りインジケーターが黄色に点滅します。

6 シャッターボタンを全押しします ➔ p. 41

- シャッター音が1回鳴り、撮影が完了します。
- 液晶モニターがついている場合、撮影した画像が約2秒表示されます。

- このモードで変更できる設定 ➔ p. 228
- 撮影後、液晶モニターに撮影画像を表示する時間を変更したり、表示しないように設定できます。 ➔ p. 65

撮影直後に画像を確認する

AUTO P Tv Av M

撮影直後、シャッターボタンを離しても約2秒間(変更できます ➔ p. 65)、撮影した画像が表示されますが、次の方法で確認することもできます。

● シャッターボタンを全押しし続ける

シャッターボタンを全押しし続けている間、液晶モニターに画像が表示されます。

● 撮影した画像が表示されている間にSETボタンを押す

撮影した画像が表示されている間に**SET**ボタンを押すと、シャッターボタンを離しても、画像が表示され続けます。

シャッターボタンを半押しにすると解除され、撮影できます。

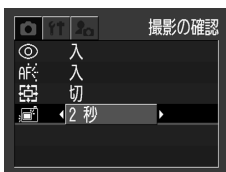
- 画像確認中に次のようなことができます。参照先をご覧ください。
  - 画像を消去する ➔ p. 15、133
  - 画像を拡大表示する ➔ p. 120

撮影した画像の確認時間を変更する

画像の確認時間を[切]または[2秒]～[10秒]のいずれかに変更できます。

1 [（撮影）]メニューから（撮影の確認）を選びます

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

2 確認時間を選び、MENUボタンを押します

- [切]の場合、画像は表示されません。
- [2秒]から[10秒]の場合、シャッターボタンを離しても、設定した時間、画像を表示します。
- シャッターボタンを全押しし続けると、設定に関わらず画像を表示できます。
- 画像の表示中でも撮影はできます。

記録画素数と圧縮率を変更する

AUTO P Tv Av M

目的に応じて、記録画素数、圧縮率(動画を除く)を変更できます。

記録画素数				撮影の目安
	PowerShot A70	PowerShot A60		
L (ラージ)	2048×1536 画素	1600×1200 画素	大きい ↑	(2048×1536画素の場合) • A4サイズまでをプリントするとき (1600×1200画素の場合) • Lサイズ、またはA5サイズをプリントするとき
M1 (ミドル1)	1600×1200 画素	—		
M2* (ミドル2)	1024× 768 画素	1024× 768 画素		• カードサイズをプリントするとき
S (スモール)	640× 480 画素	640× 480 画素	↓ 小さい	• 電子メールで画像を送るとき • より多くの画像を撮影するとき

* PowerShot A60では、M(ミドル)と表示されます。

圧 縮 率			撮影の目安
S	スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
	ファイン	↕	通常の撮影をするとき
	ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

● 動画の場合は、次の記録画素数で撮影できます。

記録画素数		
	PowerShot A70	PowerShot A60
640	640×480画素	—
320	320×240画素	320×240画素
160	160×120画素	160×120画素

1 撮影モードダイヤルを任意の位置にします

2 FUNC.ボタンを押します

3 上/下ボタンで◢L*(2048×1536または1600×1200)を選びます

画面例：
PowerShot A70

* 現在の設定が表示されます。

4 左/右ボタンで設定したい記録画素数を選びます

以外

画面例：
PowerShot A70

記録画像数
（記録画素数、圧縮率、記録形式を選択したときのみ表示）

5 SETボタンを押します

6 左/右ボタンで設定したい圧縮率を選びます

- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示されます。

7 FUNC.ボタンを押します

8 撮影します

- 撮影モードによっては、設定できないこともあります。「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p. 228)をご覧ください。
- 1画像の容量(目安)について ➔ p. 218
- CFカードの種類別、記録画像数について ➔ p. 217
- 記録画素数や圧縮率は、撮影モードを変更した場合、次のようになります(動画は、記録画素数のみ)。

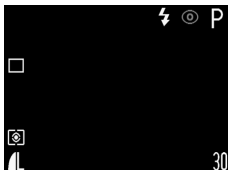
変更前の撮影モード	変更後の撮影モード	変更後の記録画素数、圧縮率
AUTO	AUTO P Tv Av M	変更したモードの設定内容に変わります。
		設定内容は変わりません。
	AUTO P Tv Av M	変更したモードの設定内容に変わります。
P Tv Av M	P Tv Av M	設定内容は変わりません。
	AUTO	変更したモードの設定内容に変わります。

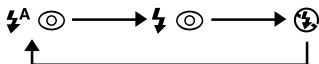
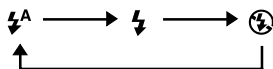
ストロボを使って撮る

AUTO P Tv Av M

撮影状況に合わせて、ストロボを使って撮影できます。

	赤目緩和オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。ストロボ発光の際には、常に赤目緩和ランプを発光します。
	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。
	常時発光(赤目緩和)	常に赤目緩和ランプとストロボを発光して撮影します。
	常時発光	常にストロボを発光して撮影します。
	発光禁止	撮影時にストロボは発光しません。

1 ボタンを押してストロボモードを切り換えます

- 液晶モニターに、選択したストロボモードが表示されます。
- ボタンを押すごとに設定が切り換わります。

赤目緩和機能[入]のとき

赤目緩和機能[切]のとき

2 撮影します

- シャッターボタンを半押ししたときに、ファインダー横のランプが橙色に点灯した場合は、ストロボが発光します。(⊛では発光しません)
- 撮影手順は、「AUTOオートで撮る(p. 62)」と同じです。

赤目緩和機能を設定する

暗いところでストロボを発光するとき、赤目緩和ランプを発光します。ストロボの光が目に反射して目が赤く光るのを防ぎます。

1 [◘(撮影)]メニューの◎(赤目緩和機能)で[入]を選びます

- 液晶モニターに◎が表示されます。

赤目緩和で撮影するときは

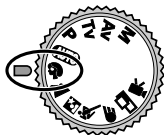
- 写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るように声をかけてください。また、「レンズを広角側にする」、「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と、より効果があがります。

- ISO感度を上げてストロボ撮影する場合、被写体との距離が近いほど、白飛びしやすくなります。

- 撮影モードによっては設定できないこともあります。「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p.228)をご覧ください。
- ストロボの発光は、プリ発光とメイン発光の2回行われます。プリ発光(ストロボ撮影に必要な露出情報を得るための予備的な発光)で得た被写体の露出情報をもとにして、メイン発光(ストロボ撮影を行うための発光)に必要な発光量が決められ、最適な発光量でストロボ撮影が行われます。
- ストロボ同調最高シャッター速度は1/500秒です。1/500秒よりも高速のシャッター速度を設定した場合は、自動的に1/500秒に再設定され、撮影されます。
- **M**以外のときは、自動調光で発光します。**M**のときはマニュアル発光します。
- **M**のときは、ストロボ発光量を変えられます。 ➔ p. 113
- ストロボ充電中は、撮影できません。
- ストロボの充電には約10秒かかる場合があります。充電時間は使用状況やバッテリーの残量などにより変わります。
- **P**、**Tv**、**Av**、**M**の場合、設定したストロボモードは、カメラの電源を切っても解除されません。

ポートレートを撮る

背景をぼかして人物を浮き立たせたいときに使います。

1 撮影モードダイヤルをにします

● 撮影手順は、「AUTOオートで撮る(p. 62)」と同じです。

● このモードで変更できる設定 ➔ p. 228
● 被写体の上半身が、ファインダーまたは液晶モニターいっぱいになるくらいにすると、背景を効果的にぼかすことができます。
● レンズを望遠側にすると、背景をさらにぼかすことができます。

風景を撮る

広がりのある風景を撮影するときに使います。

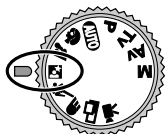
1 撮影モードダイヤルをにします

- 撮影手順は、「AUTOオートで撮る(p. 62)」と同じです。

- このモードで変更できる設定 ➔ p. 228
- ではシャッター速度が遅くなりやすいので、液晶モニターに(手ブレ警告)が表示されたら、三脚を使用して撮影してください。

夜景を撮る

夕暮れや夜景をバックにした人物を撮影するときに使います。人物にはストロボ光があたり、背景は遅いシャッター速度で、それぞれをきれいに撮影することができます。

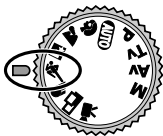
1 撮影モードダイヤルをにします

- 撮影手順は、「AUTOオートで撮る(p. 62)」と同じです。

- 手ブレを防ぐために必ず三脚をお使いください。

- このモードで変更できる設定 ➔ p. 228
- シャッター速度が遅いので、ストロボが発光してもすぐに動かないように、写される人に声をかけてください。
- で日中に撮影すると、AUTOと同じ撮影効果になります。

高速シャッターで撮る

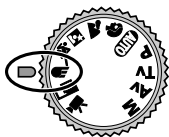
動きの速い被写体を撮影するときに使います。

1 撮影モードダイヤルを[スポーツ]にします

- 撮影手順は、「AUTOオートで撮る(p. 62)」と同じです。

- このモードで変更できる設定 ➔ p. 228
- 被写体が暗い場合は、ノイズが目立つことがあります。

スローシャッターで撮る

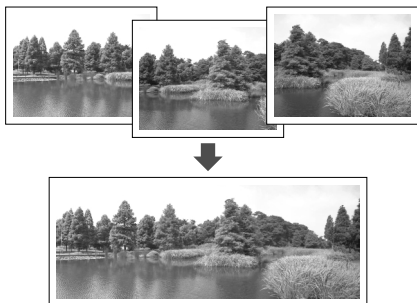
動いている被写体をぶれさせたり、川の流れなどを撮影するときに使います。

1 撮影モードダイヤルを にします

● 撮影手順は、「AUTOオートで撮る(p. 62)」と同じです。

● 手ブレを防ぐために必ず三脚をお使いください。

● このモードで変更できる設定 ➔ p. 228

スティッチアシストで撮る

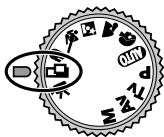
スティッチアシストモードで撮影すると、撮影した画像をパソコンで合成し、パノラマ画像を作成できます。

- パソコンでの画像合成には、同梱の「PhotoStitch」をお使いください。

被写体のとらえ方

PhotoStitchは、隣り合う画像の共通部分を見つけて合成処理を行います。共通部分には、できるだけ特徴のある被写体(目印となる被写体)を入れて撮影してください。

- 隣り合う画像の共通部分は、画像の幅の30～50%になるように撮影してください。また、上下のズレは、画像の高さの10%以内で撮影します。
- 共通部分には、動いている被写体が入らないように注意してください。
- 遠くの被写体と近くの被写体が混在する画像をスティッチしないでください。ゆがんだり、二重に写ったりすることがあります。
- 撮影時の明るさはできるだけ揃えてください。画像の明るさが違いすぎると、不自然な画像になってしまうことがあります。
- 遠くの風景を撮るときは、カメラを中心に回転して撮影します。
- 至近距離では、カメラをスライド(カメラを被写体に対して平行移動)させます。

撮影する

1 撮影モードダイヤルを□■にします

- 液晶モニターがつきます。

2 左/右ボタンで撮影方向を選び、SET ボタンを押します

- SETボタンの代わりに、シャッターボタンを押して撮影することもできます。

3 最初の画像を撮影します

- 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスがロックされます。

4 最初の画像に重ね合わせ、次の画像を撮影します

のとき

- 画像が重なる部分は、多少ずれても合成時に修正されます。
- 左/右ボタンを押すと撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。

5 同様の操作で3画像目以降を撮影します

- 最大26画像まで撮影できます。

6 撮影が終了したらSETボタンを押します

- マニュアルホワイトバランス(p. 107)の場合、では基準となる白データの取り込みができません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 2画像目の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。
- テレビと接続しても、液晶モニターの画像をテレビに表示して撮影できません。

- このモードで変更できる設定 ➔ p. 228

動画を撮る

動画を撮影するときに使います。記録画素数は、[(640×480)](PowerShot A70のみ)、[(320×240)]、[(160×120)]のいずれかから選べます。 ➔ p. 66

1 撮影モードダイヤルをにします

- 液晶モニターがつき、記録可能時間(秒数)が表示されます。

2 シャッターボタンを全押しします

- 撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
- 撮影中は、液晶モニター右上に赤丸が表示されます。

3 撮影を終了するときは、再度シャッターボタンを全押しします

- 1回の撮影時間(約15フレーム/秒)は、で約30秒*(PowerShot A70のみ)、で約3分、で約3 分です。

* 別売のCFカード FC-256MHをお使いの場合。同梱のCFカードをお使いの場合は14秒です。

これらの時間は、被写体、撮影状況などにより変わることがあります。これらの時間が経過するか、またはCFカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影が終了します。また、お使いのCFカード(書き込み速度が遅い、他のカメラやパソコンで初期化した、撮影/消去を繰り返した、など)によっては、撮影が中断することがあります。

- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したCFカードをお使いください。（p. 135）同梱のCFカードは、そのままお使いになれます。
  また、640で動画撮影をするときには、CFカード FC-256MH（別売）をお使いになることをおすすめします。
- 撮影中は、マイクに触れないようにしてください。
- AE、AF、ホワイトバランス、ズーム（画角）は、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- 撮影後、CFカードへの記録中はファインダー横のランプが緑色に点滅します。このときは撮影できません。

- このモードで変更できる設定 ➔ p. 228
- 音声は、モノラルで録音されます。
- 動画撮影時は、シャッター音は鳴りません。
- 動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0以上が必要です（同梱のDigital Camera Solution Diskには、Windows版のQuickTimeが収められています。なお、Mac OS 8.5以降には標準装備されています）。

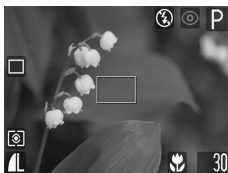
至近距離で撮る

AUTO P Tv Av M

レンズ前面から被写体までの距離が5ｃｍ（ワイド端）/26cm（テレ端）〜46cmのときは、マクロモードで撮影します。

1 DISP.ボタンを押して液晶モニターをつけます

2 ボタンを押します

- 液晶モニターに、が表示されます。

- 液晶モニターのが消えるまでボタンを押すとマクロモードを解除できます。

3 撮影します

- シャッターボタンを半押しすると、ファインダー横のランプが黄色に点灯します。
- 撮影手順は、「AUTOオートで撮る（p. 62）」と同じです。

- 撮影モードによっては、設定できないこともあります。「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p. 228)をご覧ください。
- マクロモードでは、必ず液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーを使っても撮影できますが、その場合は撮影範囲がずれます。 ➔ p. 33
- 被写体に最も近づいたときの撮影範囲は、ワイド端*1で約55×41mm、テレ端*2では、約92×69mmとなります。
- ストロボをお使いになると、画像の明るさが適切にならないことがあります。

*1 最も広角側

*2 最も望遠側

セルフタイマーを使って撮る

AUTO P Tv Av M

セルフタイマーを使って撮影します。どの撮影モードでも使えます。

1 FUNC.ボタンを押します

2 上/下ボタンで□*(ドライブモード)を選びます

* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで 10 または 2 を選び、FUNC.ボタンを押します

- 10 は、シャッターボタンを全押ししてから10秒後に、2 は2秒後に、撮影されます。

4 撮影します

- 10 を選んだときは、シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になるとセルフタイマー音が鳴り、点滅が速くなります。
- 2 を選んだときは、シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが最初から速く点滅し、2秒後に撮影されます。
- 撮影手順は、「AUTO オートで撮る(p. 62)」と同じです。

- セルフタイマー音は、[(マイカメラ)]メニューの[セルフタイマー音]で変更できます。 ➔ p. 183

デジタルズームで撮る

AUTO P Tv Av M

液晶モニターがついているときは、光学ズームと組み合わせて、次の倍率(目安)に拡大できます。

PowerShot A70：3.8倍、4.8倍、6.0倍、7.4倍、9.6倍
PowerShot A60：3.8倍、4.7倍、6.0倍、7.5倍

1 DISP.ボタンを押して、液晶モニターをつけます

2 撮影モードダイヤルを、以外の任意の位置にします

3 [(撮影)]メニューから(デジタルズーム)を選びます

- メニューの選択と設定のしかた → p. 43

4 左/右ボタンで[入]を選び、MENUボタンを押します

5 ズームレバーを[telephoto icon]側に押します

- 最も望遠側まで拡大すると、いったん停止します。再度、ズームレバーを[telephoto icon]側に押すと、さらに拡大できます。
- [wide icon]側に押すと、倍率が下がります。

光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率を表示

6 撮影します

- 撮影手順は、「AUTOオートで撮る(p. 62)」と同じです。

- 液晶モニターが消えているときは、デジタルズームが使えません。

- デジタルズームは、拡大するほど画質が粗くなります。

連続して撮る

P Tv Av M

シャッターボタンを押している間、約2.2画像/秒*(PowerShot A70)または約2.6画像/秒*(PowerShot A60)、(ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示)の速さで連続撮影します。

* 当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。

1 FUNC.ボタンを押します

2 上/下ボタンで□*(ドライブモード)を選びます

* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで連続撮影を選び、FUNC.ボタンを押します

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます

5 シャッターボタンを全押しして撮影します

- シャッターボタンを離すと撮影が終了します。

- 内部メモリーがいっぱいになると、撮影間隔が多少遅くなることがあります。
- ストロボは使用できますが、撮影のたびにストロボの充電時間がかかるため撮影間隔は長くなります。

撮影 - 目的に合わせた応用撮影

シャッター速度、絞り数値を選択するなど、カメラの設定を自由に変えて撮影できます。

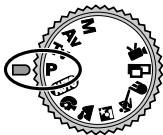
各撮影モードで、どのような設定が変更できるかは、巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 228)」をご覧ください。

● 設定を変更した後の撮影の手順は、「AUTO オートで撮る(p. 62)」をご覧ください。

P プログラムAEで撮る

P

被写体の明るさに応じて、シャッター速度と絞り数値をカメラが自動的に設定します。

1 撮影モードダイヤルをPにします

2 撮影します

- 液晶モニターがついている場合、自動的にシャッター速度と絞り数値が液晶モニターに表示されます。
- シャッター速度と絞り数値が白字で表示されているときは、適正露出です。

- このモードで変更できる設定 ➔ p. 228
- 適正露出が得られない場合、シャッター速度と絞り数値は赤字で表示されます。次の方法で撮影すると、適正露出が得られ、白字で表示されることがあります。
  - ストロボを使用する
  - ISO感度を変更する
  - 測光方式を変更する

PとAUTOの違い

- **P**とAUTOは、自動的に決まるシャッター速度と絞り数値の組み合わせは同じです。
- **P**では、次の機能を使用できますが、AUTOではできません。

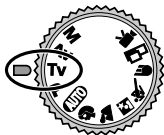
･露出補正	･ホワイトバランス	･ISO感度の変更
･ストロボ(常時発光)	･オートフォーカス方式の変更	
･色効果の変更	･連続撮影	
･測光方式の変更	･マニュアルフォーカス	

- 絞り数値とシャッター速度について ➔ p. 95

Tv シャッター速度を決めて撮る

Tv

シャッター速度を選ぶと、被写体の明るさに応じて、カメラが適正露出になる絞り数値を自動的に設定します。シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体の瞬間をとらえることができ、シャッター速度を遅くすると流動感を表現したり、暗いところでもストロボを発光せずに撮影できます。

1 撮影モードダイヤルをTvにします

- 液晶モニターがついている場合、シャッター速度が表示されます。

2 左/右ボタンでシャッター速度を選びます

撮影－目的に合わせた応用撮影

3 撮影します

- シャッター速度と絞り数値が白字で表示されているときは、適正露出です。

- 絞り数値が赤字で表示されたときは、露出アンダー(露出不足)または露出オーバー(露出過多)です。
  白字で表示されるまで、左/右ボタンでシャッター速度を調節してください。
- シャッター速度が遅くなると、CCDの特性により撮影した画像にノイズが増えますが、このカメラは、シャッター速度が1.3秒より遅くなると、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます(ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります)。

- このモードで変更できる設定 ➔ p. 228
- シャッター速度が遅くなると、手ブレしやすくなります。液晶モニターに(手ブレ警告)が表示されたら、三脚を使って撮影してください。
- ズームによって、絞り数値とシャッター速度は次のように変わります。

	絞り数値	シャッター速度(秒)
ワイド端	F 2.8	～1/1250
	F 3.2～4.0	～1/1600
	F 4.5～8.0	～1/2000
テレ端	F 4.8	～1/1250
	F 5.6～7.1	～1/1600
	F 8.0	～1/2000

- ストロボ同調最高シャッター速度は1/500秒です。1/500秒よりも高速のシャッター速度を設定した場合は、自動的に1/500秒に再設定され、撮影されます。
➔ p. 71

シャッター速度の表示

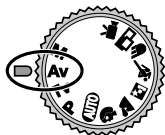
以下のシャッター速度に設定できます。1/160は1/160秒を表します。また、0"3は0.3秒を、2"は2秒を表しています。

1/2000 1/1600 1/1250 1/1000 1/800 1/640 1/500
1/400 1/320 1/250 1/200 1/160 1/125 1/100 1/80
1/60 1/50 1/40 1/30 1/25 1/20 1/15 1/13 1/10
1/8 1/6 1/5 1/4
0″3 0″4 0″5 0″6 0″8 1″ 1″3 1″6 2″ 2″5 3″2 4″
5″ 6″ 8″ 10″ 13″ 15″

Av 絞りを決めて撮る

Av

絞りとはレンズを通して入ってくる光の量を調整するものです。
絞り数値を小さくする(絞りを開く)と、背景をぼかした画像が撮影できます。絞り数値を大きくする(絞りを閉じる)と、奥行きのある風景の手前から遠くまでピントが合った鮮明な画像が撮影できます。

1 撮影モードダイヤルをAvにします

- 液晶モニターがついている場合、絞り数値が液晶モニターに表示されます。

2 左/右ボタンで絞り数値を選びます

3 撮影します

- シャッター速度と絞り数値が白字で表示されているときは、適正露出です。

- シャッター速度が赤字で表示されるときは、露出アンダー(露出不足)または露出オーバー(露出過度)です。白字で表示されるまで、左/右ボタンで絞り数値を調節してください。
- ズーム位置によっては選べない絞り数値があります。

- このモードで変更できる設定 ➔ p. 228
- 絞り数値を大きくすると、シャッター速度が遅くなり、手ブレしやすくなります。液晶モニターに(手ブレ警告)が表示されたら、三脚を使って撮影してください。
- ストロボ同調シャッター速度は、1/60～1/500秒になります。したがって、あらかじめ絞り数値を設定していても、ストロボ同調速度に応じて絞り数値が自動的に変更されることがあります。

絞り数値の表示

表示された数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります。

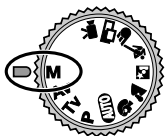
F2.8　F3.2　F3.5　F4.0　F4.5　F4.8　F5.0　F5.6　F6.3
F7.1　F8.0

- 絞り数値とシャッター速度の関係について ➔ p. 95

M 自由にシャッター速度/絞りを決めて撮る

M

シャッター速度や絞り数値を自分で決定し、狙い通りの撮影ができます。花火の撮影など露出の設定が難しいときに使うと便利です。

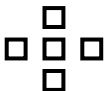
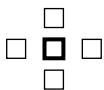
1 撮影モードダイヤルをMにします

- 液晶モニターがついている場合、シャッター速度と絞り数値が液晶モニターに表示されます。

2 左/右ボタンでシャッター速度を選びます

3 SETボタンを押します

4 左/右ボタンで絞り数値を選びます

5 撮影します

- シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに標準露出*からのずれが表示されます。このずれが±2段を越えると、この液晶モニターに、「−2」または「+2」と赤字で表示されます。
  - * 設定されている測光方式を元にAEを行って、標準露出を算出します。

- このモードで変更できる設定 ➔ p. 228
- 露出を変更したい場合は、SET ボタンでシャッター速度か絞り数値か選び、左/右ボタンで数値を変更してください。
- 液晶モニターは、設定した絞り数値、シャッター速度に応じた明るさで表示されます。速いシャッター速度を設定した場合や、被写体が暗い場合、ストロボを⚡◎（常時発光（赤目緩和））または⚡（常時発光）にすると、常に明るく表示されます。
- 絞り数値とシャッター速度の関係について ➔ p. 95

AF方式を切り換える

P Tv Av M

オートフォーカス枠(AF枠)の選択方式を変更して撮影できます。液晶モニターをつけているときは、AF枠が表示されます。 ➔ p. 40

	入 (オート選択)	撮影状況に応じて5つのAF枠の中からカメラが自動的にAF枠を選択してピントを合わせます。
	切 (中央選択)	5つのAF枠のうち、中央のAF枠でピントを合わせます。狙った被写体に確実にピントを合わせるのに便利です。

□ は、液晶モニター上に表示される枠です。

1 [(撮影)]メニューから (AiAF)を選びます

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

2 左/右ボタンで[入]または[切]を選びます

3 MENUボタンを押します

- MENUボタンの代わりに、シャッターボタンを押して、設定したAF枠の選択方式で撮影することもできます。

- デジタルズーム使用時は、中央一点のオートフォーカスになります。

測光方式を切り換える

P Tv Av M

測光方式を切り換えて撮影できます。

[評価測光アイコン]	**評価測光**	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。被写体の位置、明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出にします。
[中央部重点平均測光アイコン]	**中央部重点平均測光**	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
[スポット測光アイコン]	**スポット測光**	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。

1 DISP.ボタンを押して液晶モニターをつけます

2 FUNC.ボタンを押します

3 上/下ボタンで[評価測光アイコン]*（測光方式）を選びます

* 現在の設定が表示されます。

撮影－目的に合わせた応用撮影

4 左/右ボタンで測光方式を選びます

5 FUNC.ボタンを押します

6 撮影します

- 撮影モードによっては、設定できないこともあります。「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p. 229)をご覧ください。

露出を補正する

P Tv Av

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまうようなときなどに露出を調整します。

1 DISP.ボタンを押して液晶モニターをつけます

2 FUNC.ボタンを押します

3 上/下ボタンで±0*(露出補正)を選びます

* 現在の設定が表示されます。

4 左/右ボタンで補正量を調整します

- 補正量は、-2〜+2の範囲で1/3段ずつ変更できます。
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

5 FUNC.ボタンを押します

- 露出補正を解除するときは、左/右ボタンで補正量を0に戻します。

6 撮影します

WB ホワイトバランスを設定する

P Tv Av M

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定すると、その光源に合った適正な色に調整できます。自然光や照明光で撮影するとき、撮影条件に応じてホワイトバランスを設定します。

AWB	オート	カメラが撮影状況に合わせて、自動的にホワイトバランスを調整します。
	太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択します。
	くもり	曇天や日陰、薄暮などで撮影するときに選択します。
	電球	電球、電球色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	マニュアル	白紙などを使って、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定します。

1 FUNC.ボタンを押します

2 上/下ボタンで AWB*(ホワイトバランス)を選びます

* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで設定したいホワイトバランスを選びます

- (マニュアル)について ➔ p. 107
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押します

5 撮影します

- 色効果が (セピア)、 (白黒)では、ホワイトバランスを設定できません。

マニュアルホワイトバランスを設定する

白い紙や布など、白の基準としたいものをカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。

1 FUNC.ボタンを押します

2 上/下ボタンで AWB*(ホワイトバランス)を選びます

* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで (マニュアル)を選びます

4 カメラを白い紙や布に向け、SETボタンを押します

- 液晶モニターを使う場合は、中央の枠いっぱいに、またファインダーを使う場合は、画面いっぱいに白い紙や布が表示されるよう構図を決めてから、**SET** ボタンを押します。**SET** ボタンを押すと、白データが取り込まれます。
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

5 FUNC.ボタンを押します

6 撮影します

- 撮影モードによっては、設定できないこともあります。「各撮影モードで設定できる機能一覧」(p. 228)をご覧ください。
- 撮影モードを**P**にし、露出補正を±0にすることをおすすめします。適正露出でない場合(真っ黒や真っ白)は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 液晶モニターを使い、ズームを望遠側の位置にすることをおすすめします。
- では、白データの取り込みはできませんので、あらかじめ、他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- マニュアルホワイトバランスを設定するときは、ストロボを常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。
  白データ取り込み時と撮影時のストロボ状態を合わせないと、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。
  ストロボが赤目緩和オート/オートに設定されているときに、マニュアルホワイトバランスを設定する場合、白データ取り込みの際にストロボが発光したときは、撮影時もストロボを発光させてください。
- 設定したマニュアルホワイトバランスは、設定リセットを行っても解除されません。 ➔ p. 185

色効果を切り換える

P Tv Av M

色効果を切り換えて撮影できます。

	効果切	通常は、この設定で撮影します。
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いで撮影します。
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いで撮影します。
	ソフト	画像の輪郭を抑えて撮影します。
	セピア	セピア色で撮影します。
	白黒	白黒で撮影します。

1 FUNC.ボタンを押します

2 上/下ボタンで *(色効果)を選びます

* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで設定したい色効果を選びます

- 液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押します

5 撮影します

ISO感度を変更する

P Tv Av M

撮影場所が暗いときやシャッター速度を速くしたいときは、ISO感度を変更します。
感度は、AUTO、50、100、200、400から選べます。

1 FUNC.ボタンを押します

2 上/下ボタンで *(ISO感度)を選びます

* 現在の設定が表示されます。

3 左/右ボタンで設定したい感度を選びます

- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押します

5 撮影します

- ISO感度を上げすぎると、画像にノイズが増えます。きれいに取りたいときは、なるべく低い感度を選んでください。
- [AUTO]を選択すると、最適な画質になる感度に設定されます。また、被写体を照らすストロボ発光量が十分でない場合は、自動的に感度が上がります。

ストロボ発光量を補正する

M

撮影モードダイヤルがMのときは、ストロボの発光量を3段階から選択して撮影できます。

1 FUNC.ボタンを押します

2 上/下ボタンで ⚡(ストロボ発光量)を選びます

3 左/右ボタンで発光量を調整します

- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また、撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押します

5 撮影します

ピントが合いにくい被写体を撮る

P Tv Av M

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

- コントラストが極端に低い被写体
- 近いものと遠いものが混在する被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体

これらの被写体を撮影する場合は、その被写体とほぼ同じ距離にある別の被写体でフォーカスロック撮影するか、マニュアルフォーカスで（手動でピントを合わせて）撮影してください。

フォーカスロックで撮る

フォーカスロック撮影・方法1

1 DISP.ボタンを押して液晶モニターをつけます

2 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある異なる被写体を、AF枠に合わせます

3 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせます

- このときAEロックされます。撮影したい被写体と、その被写体と同じ距離にあるフォーカスロックに用いた被写体との輝度の差が大きいと、適正露出が得られない場合があります。この場合は、方法2で撮影してください。

4 そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影します

フォーカスロック撮影・方法2

1 DISP.ボタンを押して液晶モニターをつけます

2 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせ、そのままMFボタンを押します

- 液晶モニターに**MF**が表示されます。
- シャッターボタン、**MF**ボタンを離しても、フォーカスは固定されます。
- 再度**MF**ボタンを押すと、フォーカスロックは解除されます。

3 カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影します

- AUTOのときはフォーカスロック撮影 方法2はできません。

- 方法2は、シャッターボタンを離して構図を決められるので便利です。
- ガラス越しの被写体は、できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みの少ない状態で撮影してください。

マニュアルフォーカスで撮る

手動でピントを合わせて撮影します。

1 DISP.ボタンを押して液晶モニターをつけます

2 MFが表示されるまで、MFボタンを押します

- MFインジケーターが表示されます。
- MFインジケーターはピント位置の目安です。表示される数値を目安にしてください。

3 左/右ボタンでピントを合わせます

- 液晶モニター内の被写体がはっきり見えるまで、左/右ボタンでピントを合わせてください。
- 再度**MF**ボタンを押すと、マニュアルフォーカスは解除されます。

4 撮影します

- マニュアルフォーカス時は、AF枠は中央1点に固定されます。
- マニュアルフォーカス時は、マクロモードの撮影距離[5cm(ワイド端)/26cm(テレ端)]～46cm]もフォーカスできます。この場合、MFインジケーターの単位は細かくなります。
- MFインジケーターの表示単位を変更できます。➔ p. 181

ファイル番号をリセットする

ファイル番号の設定方法を選びます。

入	新しいCFカードを入れるたびに、ファイル番号が初期値（100-0001）に戻ります。記録済みのCFカードを入れたときは、続きの番号になります。
切	最後に撮影した画像のファイル番号が記憶され、新しいCFカードを入れても続きのファイル番号になります。

1 ［（設定）］メニューから（番号リセット機能）を選びます

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

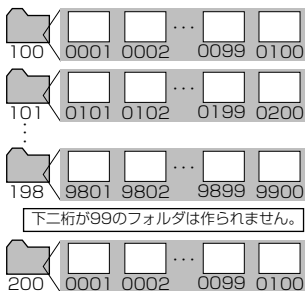
2 左/右ボタンで［入］または［切］を選びます

3 MENUボタンを押します

撮影－目的に合わせた応用撮影

- 番号リセット機能を[切]にして撮影すると、ファイル番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するような場合に便利です。

ファイル番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001～9900までのファイル番号が割り振られ、各フォルダには、100～998までの番号が割り振られます。（下2桁が99のフォルダは作られません。）

ファイル数について

ひとつのフォルダに100画像ずつ保存されます。
なお、連続撮影やスティッチアシストモードで撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、フォルダ内に101画像以上保存されることがあります。また、他のカメラで撮影したり、パソコンから画像をコピーすると、ひとつのフォルダ内に101画像以上を保存できますが、2001以上の画像が保存されているフォルダ内の画像は、このカメラで再生できませんのでご注意ください。

再生

1画像ずつ見る(シングル再生)

撮影した画像を液晶モニターに表示します。

1 モードスイッチを▶に合わせます

- 最後に撮影した画像が表示されます(シングル再生)。

2 左/右ボタンで表示する画像を切り換えます

- 左ボタンで前の画像、右ボタンで次の画像が表示されます。ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。

- DISP.ボタンを押すと、表示されている画像の情報が表示されます。➔ p. 34
- 消去ボタンを押すと、表示されている画像を簡単に消去できます。 ➔ p. 15

🔍 拡大して見る

シングル再生時、表示している画像を最大約10倍に拡大表示します。

1 モードスイッチを▶に合わせます

2 ズームレバーを🔍側に押します

表示位置の目安

- 左/右/上/下ボタンで表示位置を変更できます。
- SET ボタンを押しながらズームレバーを🔍側に押すと、画像が約2.5倍 → 約5倍 → 約10倍の順に拡大表示されます。

拡大表示を解除する

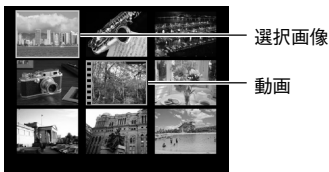
1 ズームレバーを▦側に押します

- 動画、インデックス再生時は拡大表示できません。

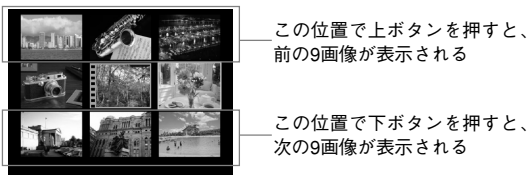
- 撮影直後に液晶モニターに表示される画像も、拡大して見ることができます。➔ p. 64

9画像ずつまとめて見る(インデックス再生)

撮影した画像を、9画像ずつまとめて表示します。

1 モードスイッチを▶に合わせます

2 ズームレバーを側に押します

- 9画像ずつまとめて表示されます。(インデックス再生)

3 左/右/上/下ボタンで選択画像を切り換えます

4 ズームレバーを側に押します

- インデックス再生が終了し、シングル再生に戻ります。

- DISP.ボタンを押すと、選択している画像の情報が表示されます。

JUMP 9画像ずつ表示を切り換える

シングル再生またはインデックス再生時、画像をジャンプして表示します。

1 ジャンプバーを表示させます

- シングル再生時(p. 119)は、ズームレバーを▦側に2回押します。
- インデックス再生時(p. 121)は、ズームレバーを▦側に1回押します。

2 画像を切り換えます

- 左/右ボタンで、前または次の9画像が表示されます。

3 ズームレバーを🔍側に押します

- ジャンプバーが消え、インデックス再生に戻ります。
- もう一度、ズームレバーを🔍側に押すと、シングル再生に戻ります。

動画を見る

で撮影した動画を再生します。

1 モードスイッチを▶に合わせます

- インデックス再生のときは、動画は再生されません。

2 左/右ボタンで動画を選び、SETボタンを押します

- (SET) が表示されている画像が動画です。
- 動画再生パネルが表示されます。

3 左/右ボタンで▶(再生)を選び、SETボタンを押します

- 動画と音声が再生されます。
- 上/下ボタンで音量を調節できます。
- 再生が終了すると、最後のフレームが表示されたままで停止します。その状態でSETボタンを押すと、動画再生パネルが表示されます。再度SETボタンを押すと、最初のフレームから再生されます。

再生の一時停止/再開

- SET ボタンを押すと再生を一時停止します。再度SET ボタンを押すと、再生を続けます。

画像送り/戻し

- 左/右ボタンで次のいずれかの操作を選び、SET ボタンを押します。
  - ：シングル再生に戻る
  - ：最初のフレームを表示
  - ：フレーム戻し（SET ボタンを押し続けると巻き戻ります。）
  - ：フレーム送り（SET ボタンを押し続けると早送りします。）
  - ：最後のフレームを表示

- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム落ちしたり、音声が途切れることがあります。

- 再生モード時、設定メニューでも、動画の再生音量を調節できます。 ➔ p. 180
- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください。

動画を編集する

撮影した動画の前部、後部の不要な部分を削除できます。

1 編集したい動画を選び、SETボタンを押します

- 動画を見る ➔ p. 123

2 左/右ボタンで ✂ (編集)を選び、SETボタンを押します

- 動画編集パネルと、動画編集バーが表示されます。

3 上/下ボタンで編集方法を選びます

- ：動画の前部を削除
- ：動画の後部を削除
- ：動画編集を中止し、動画再生パネルに戻る

4 左/右ボタンで編集位置を選びます

5 上/下ボタンで ▶ (再生)を選び、SET ボタンを押します

- 仮編集された動画が再生されます。
- 再生中にSET ボタンを押すと、再生が停止します。

6 上/下ボタンで (保存)を選びます

- を選ぶと、編集内容を保存せずにシングル再生に戻ります。

7 左/右ボタンで[上書き保存]または[新規保存]を選びます

- [上書き保存]：編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
- [新規保存]：　編集した画像に新しいファイル名をつけて保存されます。編集前のデータは残ります。
- CFカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。このとき、動画編集バーのカウンターに▲が表示されます。

- プロテクトされている動画は編集できません。
- 編集した動画を保存するとき、約3分かかることがあります。途中でバッテリーがなくなると、編集した動画を保存できないことがありますので、動画を編集するときは未使用の単3形アルカリ電池かフル充電の単3形ニッケル水素電池、あるいは別売のＡＣアダプターキットACK600の利用をおすすめします。➔ p. 197

- 編集前の長さが2秒以上の動画を編集できます。
- 編集した動画の最少時間は1秒です。

回転して表示する

時計方向に90度、270度に回転して表示します。

0度（元の画像）

90度

270度

1 ［▶（再生）］メニューから（回転）を選びます

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

2 左/右ボタンで回転したい画像を選び、SET ボタンを押します

- SET ボタンを押すたびに、90度➔270度➔元の画像が表示されます。

3 MENUボタンを押します

- メニュー画面表示に戻ります。もう一度MENUボタンを押すと、メニュー画面が消えます。

- 動画は回転表示できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

- 画像を回転したあとで、拡大することもできます。
➔ p. 120

音声メモを付ける

再生中（シングル再生、インデックス再生、拡大再生）に、再生中の画像に最長60秒の音声メモを付けることができます。音声データはWAVE形式で保存されます。

1 ［▶（再生）］メニューから🎙（音声メモ）を選びます

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

- 🎙が表示されます。

2 左/右ボタンで音声メモを付けたい画像を選び、SETボタンを押します

- AVパネルが表示されます。

3 左/右ボタンで［●］を選び、SETボタンを押します

- 録音が始まり、録音時間が表示されます。カメラのマイクに向かって音声を発してください。
- 停止するときはSETボタンを押します。引き続き録音をするときは、もう一度SETボタンを押します。
- 一画像につき、合計が60秒に達するまで何度でも録音を追加することができます。

音声メモの再生

- 前ページ手順2で、[▶]を選びます。音声メモの付いた画像には[♪]マークが表示されています。
- 停止するときはSETボタンを押します。引き続き再生するときは、もう一度SETボタンを押します。上/下ボタンで、音量を調節できます。

音声メモの消去

- 前ページ手順2で、[消去]を選びます。

音声メモ設定の終了

- MENUボタンを押します。

- 動画には音声メモを付けられません。
- 画像に互換性のない音声ファイルが添付されている場合、録音、再生はできません。録音、再生をしようとすると、「互換性のないWAVEです」のメッセージが表示されます。なお、不明な音声データはこのカメラで削除できます。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。 ➔ p. 132

- 設定メニューでも、音声メモの音量を調節できます。
➔ p. 180

画像を自動再生する(オートプレイ)

CFカード内のすべての画像を自動で再生します(オートプレイ)。再生間隔は、約3秒です。

1 [▶(再生)]メニューから⧉(オートプレイ)を選びます

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43
- メニューから選ぶと、オートプレイが開始されます。
- オートプレイ中も、シングル再生中と同様に左/右ボタンで画像を送ることができます。

オートプレイの一時停止/再開

- オートプレイ中にSETボタンを押すと、オートプレイが停止されます。もう一度SETボタンを押すと、オートプレイが再開されます。

オートプレイの終了

- オートプレイ中に、MENUボタンを押すと、オートプレイが終了します。

- 画像によっては、再生間隔が異なることがあります。
- 動画は記録した時間で再生されます。
- オートプレイ中は、節電機能は働きません。➔ p. 31

画像をプロテクトする

大切な画像を誤って消去しないようプロテクトすることができます。

1 [▶(再生)]メニューから🔑(プロテクト)を選びます

● メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

2 左/右ボタンでプロテクトしたい画像を選び、SET ボタンを押します

プロテクトマーク

● プロテクトを設定した画像には、🔑が表示されます。
● プロテクトを設定した画像で SET ボタンを押すと、プロテクトが解除されます。
● シングル再生とインデックス再生を切り換えても指定できます。➔ p. 121

3 MENU ボタンを押します

● メニュー画面に戻ります。もう一度 MENU ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。

● CFカードを初期化(p.135)すると、プロテクトした画像も消去されますので、CFカードを初期化するときはCFカード上の記録内容を十分に確認してから行ってください。

消去

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

1画像ずつ消去する

1 左/右ボタンで消去したい画像を選び、🗑ボタンを押します

- 確認画面が表示されます。

2 左/右ボタンで[消去]を選び、SET ボタンを押します

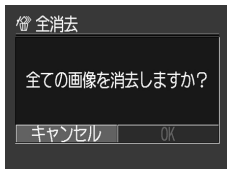
- 消去を取り消すときは、[キャンセル]を選び、SET ボタンを押します。

再生・消去

- プロテクトされている画像は消去できません。➔ p. 132

全画像を消去する

1 **[▶(再生)]メニューから🗑(全消去)を選び、SETボタンを押します**

- 確認画面が表示されます。

2 **左/右ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します**

- 消去を取り消すときは、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。

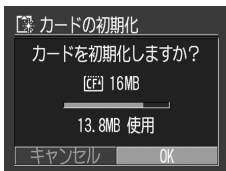
- プロテクトされている画像は消去できません。 ➔ p. 132

CFカードを初期化する

新しいCFカードをお使いになるときや、CFカード内の画像だけでなく、他のデータもすべて削除したいときは、CFカードを初期化します。

- CFカードを初期化すると、CFカードの記録内容はすべて消去されます。プロテクトをかけた画像も消去されますので、あらかじめ記録内容を十分に確認してから行ってください。

1 [(設定)]メニューから(カードの初期化)を選び、SETボタンを押します

2 左/右ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します

- 初期化を中止するときは、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。

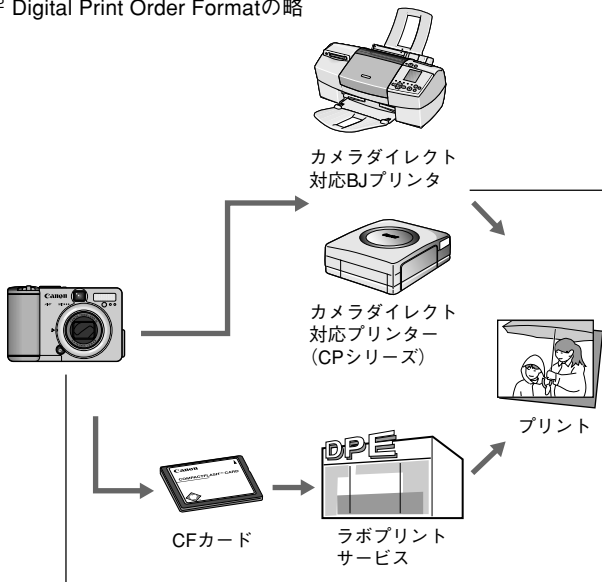
- カメラが正しく動作しないときは、CFカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。
- キヤノン製以外のCFカードでも正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。
- 他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したCFカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。

プリント

プリントについて

このカメラをカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ、別売)*1、またはカメラダイレクト対応BJプリンタ(別売)とケーブルで直接つないで、CFカード内の画像をカメラのボタン操作だけで簡単にプリントできます(ダイレクトプリント)。また、あらかじめカメラでプリントする画像や枚数などを設定(DPOF*2プリント設定)しておけば、CFカードをラボプリントサービスにお持ちいただくだけで、指定どおりにプリントされるので、大変便利です。

*1 カメラダイレクト対応のCPプリンターには、ダイレクトプリントマークが付いています。

*2 Digital Print Order Formatの略

このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)については、システムマップでご確認ください(また、このカメラで使えるカメラダイレクト対応BJプリンタについては、カメラユーザーガイド裏表紙に記載されているホームページでご確認いただくか、キヤノン販売お客様ご相談センターにお問い合わせください)。

ダイレクトプリント時のプリント設定

- プリント枚数を決める ➔ p. 148

⬇

- プリントスタイルを決める ➔ p. 148
  - スタンダード/分割画面
  - フチ　あり/なし
  - 日付　入/切

⬇

- プリント領域を選ぶ ➔ p. 151、153
  (トリミング)

DPOFプリント指定

- プリントしたい画像を選ぶ ➔ p. 155

⬇

- プリント枚数を決める ➔ p. 156

⬇

- プリントスタイルを決める ➔ p. 157
  - スタンダード/インデックス
  - 日付　入/切
  - ファイル番号

DPOF送信指定

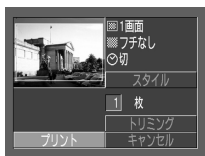
- メール*などで送りたい画像を決める ➔ p. 164

* DPOF送信指定対応のソフトウェアが必要

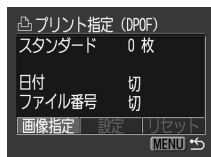
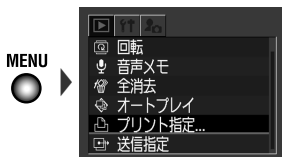
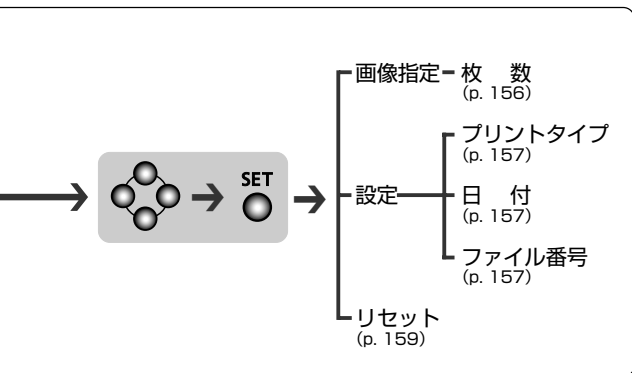
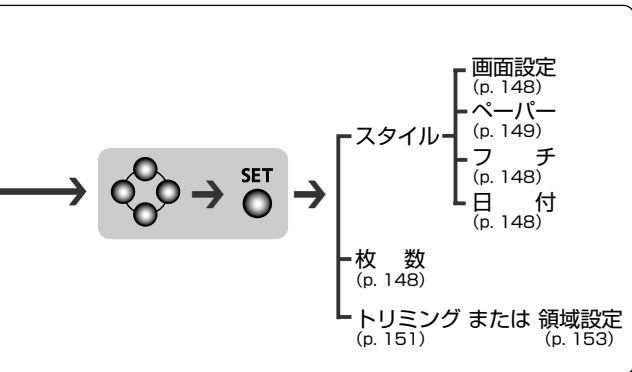
プリントメニューの選択と設定のしかた

プリント関連の設定は、プリントメニューを使って操作します。
プリントメニューを使った操作は、下図のように行います。

ダイレクトプリントの場合

モードスイッチ ▶

画面例：PowerShot A70

DPOF設定の場合

モードスイッチ ▶

MENU：メニューの表示／非表示を切り換えます。
：項目、設定内容を選びます。
SET：項目、設定内容を確定します。

プリンターを接続する

カメラダイレクト対応プリンター(CP シリーズ、別売)、またはカメラダイレクト対応BJプリンタ(別売)とカメラを接続すると、簡単な操作で、きれいに、しかも素早くプリントできます。また、DPOFのプリント設定でプリントできます。

- 長時間連続してプリントするときは、ACアダプターキット ACK600(p. 197)またはフル充電された単3形ニッケル水素電池(p. 195)、未使用の単3形アルカリ電池をお使いください。

- このカメラでお使いになれるカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)は、システムマップ(別紙)をご覧ください。
- ペーパーやインクカセットの取り付け方は、使用説明書(プリンターに同梱)をご覧ください。

カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)に接続する

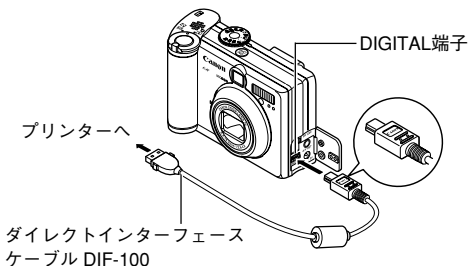
プリンターには、ダイレクトインターフェースケーブルが2本同梱されています。このカメラと接続するときは、コネクターに「⭠」マークがついているケーブル(DIF-100)をお使いください。

1 カメラの電源を切ります ➔ p. 30

2 プリンターに電源ケーブルを接続し、電源プラグをコンセントに差し込むか、プリンター用の充電バッテリーを取り付けます

- 充電式バッテリーがお使いになれるかどうかは、プリンターによって異なります。プリンターに同梱されている使用説明書もお読みください。

3 ダイレクトインターフェースケーブルで、プリンターとカメラを接続します

- ケーブルを差し込むときは、「Canon」が上になるように差し込んでください。

4 プリンターのメインスイッチを押して電源を入れます

- カードフォトプリンターCP-10をお使いのときは、手順2でプリンターの電源が入ります。

5 モードスイッチを▶に合わせ、カメラの電源を入れます

- プリンターが正しく接続されていると、カメラの液晶モニターにが表示されます。

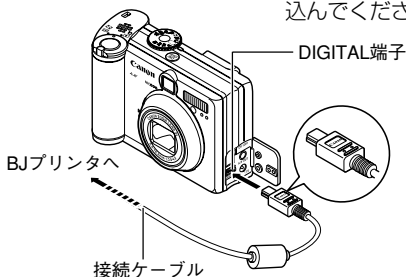
BJプリンタに接続する

- お使いのBJプリンタがカメラダイレクトに対応しているかどうか、また接続ケーブルやBJプリンタ全般に関することは、BJプリンタに同梱されている使用説明書も合わせてご覧ください。

1 カメラの電源を切ります → p. 30

2 BJプリンタに電源ケーブルを接続し、電源プラグをコンセントに差し込んだあとBJプリンタの電源を入れます

3 接続ケーブルでカメラとBJプリンタを接続します

- ケーブルを差し込むときは、「Canon」が上になるように差し込んでください。

4 モードスイッチを▶に合わせ、カメラの電源を入れます

● BJプリンタが正しく接続されていると、カメラの液晶モニターにが表示されます。

● 操作パネルのあるBJプリンタをお使いのとき、カメラと接続した場合、BJプリンタの操作パネルからのプリントはできません。
● プリンターを接続しているときは、次の操作ができません。
  - 動画再生
  - SET ボタン＋MENUボタンを使った言語の設定
● プリンターとの接続を解除すると、液晶モニター左上の、またはが消え、通常の再生モードになります。
● カメラとプリンターのケーブルを取り外す
  1. プリンター側のケーブルを取り外す
  2. カメラの電源を切る
  3. カメラ側のケーブルを取り外す
● カメラのDIGITAL端子からケーブルを取り外すときは、必ずコネクターの側面を持って引いてください。

プリントする

* 以下の説明では、カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)接続時の画面例を使用しています。BJプリンタ接続時は[スタイル]の一部が異なります。

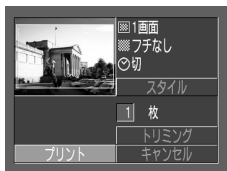
シングル再生またはインデックス再生中の画像をプリントします。

1 左/右ボタンでプリントしたい画像を表示し、SETボタンを押します

2 必要に応じてプリント枚数、プリントスタイル、トリミング(プリント領域)を設定します

- プリント枚数を設定する ➔ p. 148
- プリントスタイルを設定する ➔ p. 148
- トリミング(画像の一部分をプリント)を設定する(PowerShot A70) ➔ p. 151
- プリント領域を設定する(PowerShot A60) ➔ p. 153

3 [プリント]を選びます

- プリントが開始され、プリントが正常に終了すると再生画面に戻ります。

画面例：PowerShot A70

- 動画はプリントできません。

プリントを中止するとき

- プリント中にSETボタンを押します。確認の画面が表示されるので、左/右ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します。
  - カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)
    プリント中の画像のプリントは中止できません。次のプリントから中止され、再生画面に戻ります。
  - BJプリンタ
    プリントが中断され、プリント中のペーパーは排紙されます。

エラーが発生したとき

- プリント中、何らかのエラーが発生したときは、エラー画面が表示されます(p.190)。左/右ボタンで[中止]または[再開]を選び、SETボタンを押します(BJプリンタの場合、エラー内容を解決すると、自動的にプリントが再開されます)。
  - カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)
    エラーの内容によっては、[再開]が表示されないこともあります。その場合は、[中止]を選びます。
  - カメラダイレクト対応BJプリンタ
    - ・エラーの内容によっては、[続行]と[中止]が表示されます。
    - ・操作パネルがあるBJプリンタでは、BJプリンタの操作パネルに、エラー番号が表示されます。エラー番号に対応した対処方法については、BJプリンタの使用説明書をご覧ください。

プリントの設定をする（ダイレクトプリント時）

プリント枚数を設定する

1 再生画面で **SET** ボタンを押し、上/下ボタンで[枚]を選びます

2 左/右ボタンで枚数を設定します

- 1～99まで指定できます。

プリントスタイルを設定する

次のスタイルを設定できます。

カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)

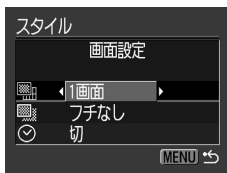
画面設定	1画面	ペーパー1枚に1画像をプリントします。
	分割画面*	ペーパー1枚に同一の画像を8画面プリントします。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいにプリントします。
	フチあり	フチを付けてプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。

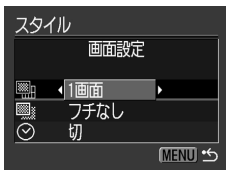
*カードサイズのペーパーにプリントするときのみ設定できます。

カメラダイレクト対応BJプリンタ

ペーパー		ペーパーサイズを、L判、2L判、はがきサイズ、A4サイズ、カードサイズから選べます。使用できるペーパーについては、BJプリンタの使用説明書をご覧ください。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいにプリントします。
	フチあり	フチを付けてプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。

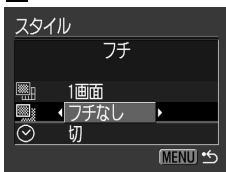
1 プリント指定画面で、上/下ボタンで[スタイル]を選び、**SET**ボタンを押します

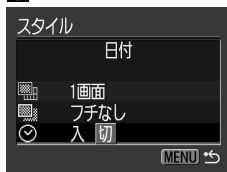
2 上/下ボタンで[画面設定](または[ペーパー])、[フチ]、[日付]のいずれかを選びます

3 左/右ボタンで設定を選びます

画面設定
（カメラダイレクト
対応プリンターCPシリーズ）

[1画面]または[分割画面]を選びます。

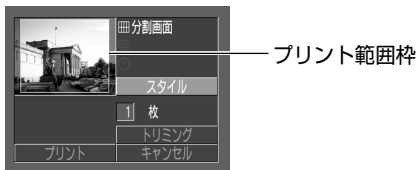
ペーパー
（カメラダイレクト対応
BJプリンタ）

［L判］、［2L判］、［はがき］、［A4］、または［カード］を選びます。

フチ

[フチなし]または[フチあり]を選びます。

日付

[入]または[切]を選びます。

4 MENUボタンを押します

- [フチなし]や[分割画面]を選ぶと、撮影した画像の中央部が大きくプリントされます。このため、画像の上下左右がカットされます。プリントされる領域が明るく表示されるので、カットされる部分が確認できます。

- [分割画面]の場合、日付とフチは設定されません。（日付[切]、[フチなし]でプリントされます。）
- [フチあり]を選ぶと、撮影した(液晶モニターに表示される)画像とほとんど同じ領域がプリントされます。

トリミングを設定する(PowerShot A70)

プリントする領域を指定できます。

トリミングする前に

プリントスタイル(画面設定、ペーパー、フチ、日付など)を指定してください。 → p. 148

1 再生画面でSETボタンを押し、上/下ボタンで[トリミング]を選び、SETボタンを押します

- トリミング枠が画面中央に表示されます。すでにトリミングが設定されている画像の場合は、設定されたトリミング枠が表示されます。

2 トリミングします

トリミング枠の大きさを変更する

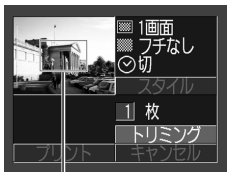
- ズームレバーを🔍側または▦側に押します。
- トリミング枠は、最小で表示画面のほぼ半分、最大で表示画面とほぼ同じ大きさまで変更できます。
- トリミング枠が最大のとき、さらにズームレバーを▦側に押すと、トリミングは解除されます。
- トリミングで画像を拡大プリントする場合、拡大率によっては、プリントの画質が粗くなります。カメラダイレクト対応プリンターをお使いの場合は、トリミング枠が赤くなります。

トリミング枠の位置を指定する

- 左/右/上/下ボタンでトリミング枠を移動します。

トリミング枠を回転する

- DISP.ボタンを押すと、トリミング枠を回転し、縦横を変更できます。

3 SET ボタンを押し、設定を終了します

トリミング枠

- トリミングは1画像にのみ設定できます。
- トリミング設定は、以下の操作を行うと解除されます。
  - 他の画像にトリミング設定をする
  - プリントモードを終了する(カメラの電源を切る、モードを変更する、ダイレクトインターフェースケーブルを取り外す)
  - トリミング設定画面でMENUボタンを押す
  - トリミング枠を最大よりも大きくする

- トリミングの枠の形状は、画面設定、ペーパー、フチの設定で決まります。
- トリミングはカメラの液晶モニターで確認しながら行ってください。テレビを使用すると、トリミング枠を正しく表示できないことがあります。

プリント領域を設定する(PowerShot A60)

プリントする範囲(領域)を、3種類の中から設定できます。

	上寄せ	画像の上側部分の領域をプリントします。
	中寄せ	画像の中央部分の領域をプリントします。
	下寄せ	画像の下側部分の領域をプリントします。

プリント領域の設定をする前に

- プリントスタイル(画面設定、フチ、日付など)を設定してください。➔ p. 148
- フチなし、分割画面のときに設定できます。

1 再生画面でSETボタンを押し、上/下ボタンで[領域設定]を選びます

● 領域設定を示すアイコンの両側に◀▶が表示されます。

2 左/右ボタンで の中からプリント領域を選びます

● ペーパーのサイズがL判のとき、またはプリントスタイルの画面設定が[分割画面]のときは、選べるプリント領域が左右に動くことがあります。

● プリント領域の設定は1画像にのみ設定できます。
● プリント領域の設定は、以下の操作を行うと解除されます。
- プリントする
- 他の画像にプリント領域を設定する
- プリントモードを終了する（カメラの電源を切る、モードを変更する、プリント領域を設定したあと、プリントせずに[キャンセル]を選ぶ、ダイレクトインターフェースケーブルを取り外す）

DPOFのプリント指定

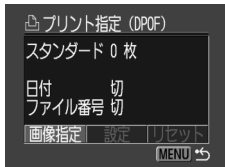
CFカードに記録されている画像の中から、プリントする画像や枚数をあらかじめカメラで指定できます。カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)や、カメラダイレクト対応のBJプリンタに一括でプリントするときや、ラボプリントサービスに注文するときに大変便利です。

- DPOF対応の他のカメラでプリント指定されたCFカードの場合、⚠が表示されます。このカメラでそれらのプリント指定を変更すると、設定済みのプリント指定は、すべて書き換えられます。
- プリンターまたはラボプリントサービスによっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画は、プリント指定できません。

プリントする画像を選ぶ

1 [▶(再生)]メニューから🖨(プリント指定)を選び、SETボタンを押します

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

2 左/右ボタンで[画像指定]を選び、SETボタンを押します

3 プリントする画像を選びます

1画像ずつ指定するとき

- プリントタイプ(p. 157)が[スタンダード]/[両方]の場合、左/右ボタンで画像を選びます。上/下ボタンで、プリント枚数が指定できます(最大99枚まで)。

- プリントタイプ(p. 157)が[インデックス]の場合、左/右ボタンで画像を選び、上/下ボタンで、指定、指定解除を行います。指定したときは、チェックマークが表示されます。
- インデックス再生(3画像表示)に切り換えても、同じ方法で指定できます。

CFカード内のすべての画像を指定するとき

- インデックス再生(3画像表示)に切り換えます。
- SET ボタンを押したあとで、上/下ボタンで[全画像指定]を選び、再度SETボタンを押すと、すべての画像に対して1枚ずつプリント指定されます。
- プリントタイプが[スタンダード]/[両方]の場合、各画像のプリント枚数を変更できます。[インデックス]の場合は、プリント指定の解除ができます。変更方法は、手順3のはじめからもう一度ご覧ください。
- [全指定解除]を選ぶと、すべての指定を解除できます。

4 MENUボタンを押します

- 撮影日時の古い画像から順にプリントされます。
- 最大998画像まで設定できます。
- 手順3でズームレバーを押すと、シングル/インデックス（3画像）表示を切り換えて、画像を選べます。
- [プリントタイプ]が[両方]の場合、プリント枚数は設定できますが、[インデックス]の場合は設定できません。[インデックス]では1枚のみプリントされます。
- 同梱されているソフトウェアでもプリント指定ができます。

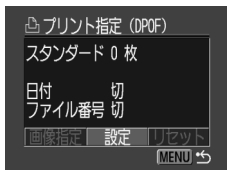
プリントスタイルを設定する

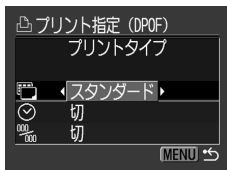
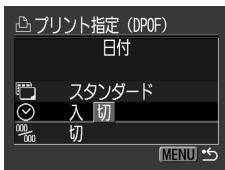
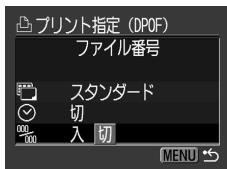
次の内容を設定できます。

プリントタイプ	スタンダード	ペーパー1枚に1画像をプリントします。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式でプリントします。
	両方	スタンダードとインデックスの両方をプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。
ファイル番号		ファイル番号を入れてプリントします。

1 [（再生）]メニューから（プリント指定）を選び、SETボタンを押します

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

2 左/右ボタンで[設定]を選び、SETボタンを押します

3 上/下ボタンで（プリントタイプ）、（日付）、（ファイル番号）のいずれかを選びます

4 左/右ボタンで設定を選びます

（プリントタイプ）
[スタンダード]、[インデックス]、[両方]のいずれかを選びます。

日付
[入]または[切]を選びます。

ファイル番号
[入]または[切]を選びます。

5 MENUボタンを押します

- 設定が終了し、プリント指定メニューに戻ります。

- [プリントタイプ]が[インデックス]の場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]に設定することはできません。
- [プリントタイプ]が[両方]の場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]に設定できますが、インデックスプリントには、[ファイル番号]のみプリントされます。

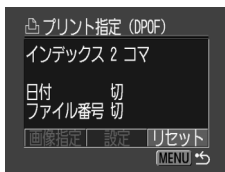
- 日付は、[日付/時刻]で設定した日付スタイルでプリントされます。 ➔ p. 26

プリントの設定をリセットする

画像のプリント指定をすべて解除し、プリントタイプを[スタンダード]、日付を[切]、ファイル番号を[切]に戻します。

1 [▶(再生)]メニューから🖶(プリント指定)を選び、SETボタンを押します

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

2 左/右ボタンで[リセット]を選び、SETボタンを押します

3 左/右ボタンで[OK]を選び、**SET**ボタンを押します

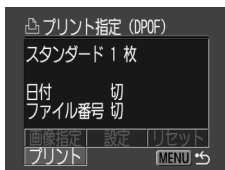
- リセットを取り消すときは、[キャンセル]を選び、**SET**ボタンを押します。

DPOFのプリント指定でプリントする

DPOFのプリント指定内容を、別売のカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)、またはカメラダイレクト対応BJプリンタでプリントできます。

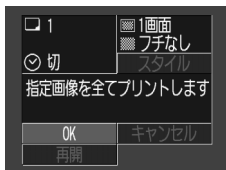
1 [▶(再生)]メニューから🖨(プリント指定)を選び、**SET** ボタンを押します

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

2 左/右ボタンで[プリント]を選び、**SET** ボタンを押します

3 必要に応じてプリントスタイルを設定します

- プリントスタイルを設定する ➔ p. 148
- DPOFのプリント指定で、プリントタイプに[インデックス]を選択している画像では、プリントスタイルは設定できません。（BJプリンタでは、ペーパーの種類を設定できます。）

4 上/下 左/右ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します

● プリントが開始され、正常に終了すると再生画面に戻ります。

● 日付をプリントする場合は、手順2の[設定]で[日付]を[入]にします。手順3の[スタイル]では、[日付]の設定はできません(p. 161)。なお、プリントタイプが[インデックス]の場合、手順2で[日付]を[入]に設定しても、日付はプリントされません。
● プリントタイプで[両方]を設定すると、カメラ上では、[日付]、[ファイル番号]ともに[入]の設定ができます。ただし、この場合、[インデックス]プリントには、ファイル番号のみプリントされます。(BJプリンタでは、[インデックス]プリントには、日付もファイル番号もプリントできません)
● プリントタイプが[スタンダード]の場合、ファイル番号を[入]にしてもファイル番号はプリントされません。

- プリントタイプが[インデックス]の場合、ペーパー1枚にプリントされる画像数は、ペーパーによって異なります。
  - クレジットカードサイズ：20画像
  - Lサイズ：42画像
  - ポストカードサイズ：63画像

  （BJプリンタでプリントしたときの画像数については、BJプリンタの使用説明書でご確認ください。）

プリントを中止するとき → p. 147

プリントを再開するとき

- プリント指定メニューで、左/右ボタンで[再開]を選び、**SET**ボタンを押します。残りの画像をプリントできます。
- 次のような場合は、プリントの再開はできません。
  - 再開する前に、プリント指定を変更した場合
  - 再開する前に、プリント指定した画像を削除した場合
  - プリントを中断したときに、CFカードの空き容量が少なかった場合

  このような場合は、プリント画面で[OK]を選択すると、1枚目から再プリントできます。
  バッテリーの容量がなくなって中断した場合は、ACアダプターキット ACK600をお使いになることをおすすめします。バッテリーをお使いになるときは、フル充電されたバッテリーまたは未使用の単3形アルカリ電池をお使いください。その上で、再度、カメラの電源を入れてください。

エラーが発生したとき → p. 147

画像の送信設定（DPOF送信指定）

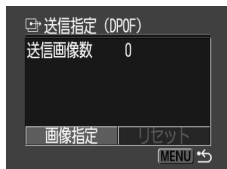
電子メールで送信する画像などを、あらかじめカメラ側で指定しておくことができます。（実際に画像を送信するときは、同梱のソフトウェアをご使用ください。）
この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

- DPOF対応の他のカメラで送信指定されたCFカードの場合、▲が表示されます。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

送信する画像を選ぶ

1 ［▶（再生）］メニューから（送信指定）を選び、**SET** ボタンを押します

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 43

2 左/右ボタンで［画像指定］を選び、**SET** ボタンを押します

- ［リセット］を選ぶと、送信指定された画像をすべて解除します。

3 送信する画像を選びます

1画像ずつ指定するとき

- 左/右ボタンで画像を選び、上/下ボタンで、指定、指定解除を設定します。指定したときは、チェックマークが表示されます。
- インデックス再生(3画像表示)に切り換えても、同じ方法で指定できます。

CFカード内のすべての画像を指定するとき

- インデックス再生(3画像表示)に切り換えます。
- SET ボタンを押した後、上/下ボタンで[全画像指定]を選び、再度 SET ボタンを押すと、すべての画像が指定されます([全指定解除]を選ぶと、すべての指定を解除できます)。
- [全画像指定]または[全指定解除]を行ったあと、左/右ボタンで画像を選び、上/下ボタンで設定変更できます。

4 MENUボタンを押します

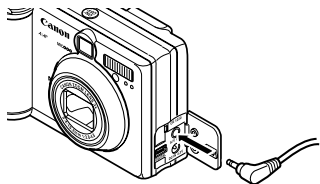
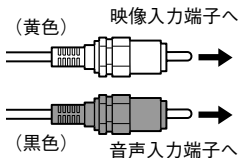
- 送信指定が終了し、送信指定メニューに戻ります。

- 撮影日時の古い画像から順に送信されます。
- 最大998画像まで指定できます。

テレビを使って撮影/再生する

同梱のAVケーブル AVC-DC100を使用すると、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。

1 カメラの電源を切ります ➔ p. 30

2 カメラの端子にAVケーブルを接続します

3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続します

4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にします

5 カメラの電源を入れます ➔ p. 30

- 画像がテレビに表示されます。通常の撮影や再生ができます。
- 撮影時、テレビに画像が表示されていないときは、**DISP.**ボタンを押します。

- テレビ表示中は、液晶モニターに画像は表示されません。
- 海外で使うとき ➔ p. 203
- AVケーブルをステレオ対応のテレビに接続する場合は、音声入力端子の左右どちらかに接続してください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。
- □■では使用できません。

パソコンへの画像の取り込み

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。

- **カメラとパソコンを接続して画像を取り込む**
  カメラとパソコンを接続するだけで、簡単に画像を取り込めます。
- **CFカードから直接画像を取り込む**
  ノートパソコンやカードリーダーをお使いの場合は、CFカードから、直接、パソコンに画像を取り込めます。

カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

同梱のソフトウェアをインストールしたあと、そのソフトウェアで、簡単に画像を取り込み、プリントしたり、メールに添付して送付できます。

重要

以下のOSをお使いの場合、カメラとパソコンを接続する前に、必ず同梱のCanon Digital Camera Solution Diskに収められているドライバとソフトウェアをインストールしてください。
Windows 98(Second Editionを含む) /
Windows 2000 / Windows Me /
Mac OS 9.0 ～ 9.2

- ドライバとソフトウェアをインストールする前にカメラとパソコンを接続すると、カメラが正しく認識されません。このような場合には、ソフトウェアクイックガイドの「困ったときには」をご覧ください。

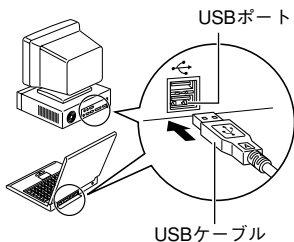
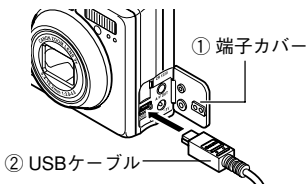
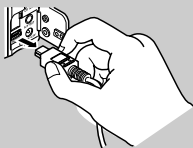
1 Canon Digital Camera Solution Diskから、ドライバとソフトウェアをインストールします

- パソコンに必要なシステム構成やインストールの手順は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

2 同梱のUSBケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL 端子を接続します

- USB接続の場合、カメラやパソコンの電源を切る必要はありません。
- USBポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書で確認してください。

3 カメラのモードスイッチを▶にし、緑色のランプが点滅するまで、メインスイッチを押します

- 液晶モニターに再生画面が表示されます。
- パソコンへの接続が完了すると、液晶モニターは消え、ランプが緑色に点灯します。

カメラのDIGITAL端子からケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って、取り外してください。

このあとの操作については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

ソフトウェアをインストールしないで画像を取り込む（Windows XP、Mac OS X（10.1/10.2）のみ）

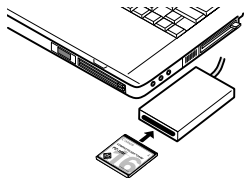
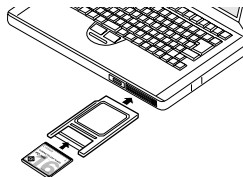
Windows XPまたはMac OS X（10.1/10.2）をお使いの場合、OSに標準で組み込まれているソフトウェアを使用するので、Canon Digital Camera Solution Diskからソフトウェアをインストールしなくても、画像（JPEG形式のみ）を取り込むことができます。会社やお友達のパソコンに画像を取り込むときに便利です。
ただし、この方法で画像を取り込む場合、いくつかの制限事項があります。詳細は、同梱の「Windows® XP、Mac OS Xをお使いの方へ」でご確認ください。

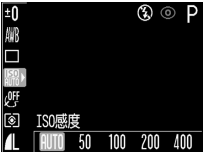
1 同梱のUSBケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL 端子を接続する（p. 169 手順2を参照してください。）

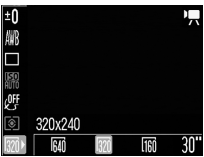
2 パソコンに表示されるメッセージにしたがって画像を取り込む

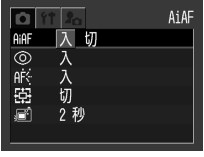
- カメラをパソコンに接続する場合、カメラの電源にはACアダプターキット ACK600(別売)をお使いになることをおすすめします。 ➔ p. 197
- USB 2.0対応ボードとの接続は、全ての動作を保証するものではありません。

CFカードから直接画像を取り込む

1 カメラからCFカードを取り出し、パソコンに接続されたCFカードリーダーに入れます

● PCカードリーダーをお使いの場合は、まずCFカードをPCカードアダプター(別売)に差し込んでから、PCカードリーダーに入れてください。

2 CFカードを接続したドライブをダブルクリックして開きます

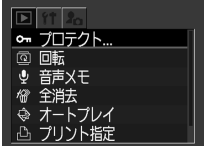
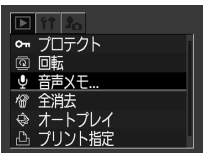
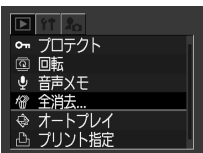
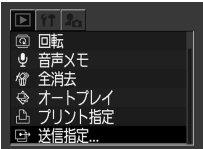
3 撮影した画像をハードディスクの任意の場所にコピーします

● 画像は、CFカード内の[DCIM]フォルダの中の[xxxCANON]フォルダ(xxxは100~998の数字が入ります)にあります。

メニュー・メッセージ一覧

FUNC.(ファンクション)メニュー

* 初期設定

項目・画面	内容	参照先
露出補正	露出を補正します。 ・−2〜0*〜+2	103
ストロボ発光量	**M**モードのときのストロボ発光量を設定します。	113
ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。 ・AWB（オート）* ・（太陽光） ・（くもり） ・（電球） ・（蛍光灯） ・（蛍光灯H） ・（マニュアル）	105
ドライブモード	連続撮影やセルフタイマーを設定します。 ・（通常撮影）* ・（連続撮影） ・（セルフタイマー10秒） ・（セルフタイマー2秒）	85 89

付録

項目・画面	内容	参照先
ISO感度	撮影感度を設定します。 ·50* ·100 ·200 ·400 ·AUTO	111
色効果	色効果を切り換えます。 · (効果切)* · (くっきりカラー) · (すっきりカラー) · (ソフト) · (セピア) · (白黒)	109
測光方式	測光方式を切り換えます。 · (評価測光)* · (中央部重点平均測光) · (スポット測光)	101
記録画素数	画像の画素数を設定します。 (PowerShot A70) · **L** ラージ (2048 × 1536画素)* · **M1** ミドル1(1600 × 1200画素) · **M2** ミドル2(1024 × 768画素) · **S** スモール (640 × 480画素) (PowerShot A60) · **L** ラージ (1600 × 1200画素)* · **M** ミドル (1024 × 768画素) · **S** スモール (640 × 480画素)	66

* 初期設定

項目・画面	内容	参照先
記録画素数(動画)	画像の画素数を設定します。 ・640 (640 × 480画素) (PowerShot A70のみ) ・320 (320 × 240画素)* ・160 (160 × 120画素)	66
圧縮率	画像の圧縮率を設定します。 ・S スーパーファイン ・ファイン* ・ノーマル	66

撮影メニュー

項目・画面	内容	参照先
AiAF AiAF	AF枠をカメラが自動的に選択して撮影するか、あらかじめ中央のAF枠に決めて撮影するかを設定します。 ・入* ・切	100
赤目緩和機能	ストロボ発光のときの赤目緩和ランプの発光の有無を設定します。 ・入* ・切	70

付録

項目・画面	内容	参照先
AF補助光	AFのときに、必要に応じてAF補助光の発光を設定します。 ・入* ・切	41
デジタルズーム	光学ズームと合わせて、拡大するかどうかを設定します。 ・入 ・切*	87
撮影の確認	撮影してシャッターボタンを離したあと、撮影した画像を液晶モニターに表示する時間を設定します。 ・切 ・2*〜10秒	65

再生メニュー

項目・画面	内容	参照先
プロテクト	画像を消去できないようにプロテクトを設定します。	132

* 初期設定

項目・画面	内容	参照先
回転 プロテクト 回転... 音声メモ 全消去 オートプレイ プリント指定	時計方向に90度、270度に回転して画像を表示します。	128
音声メモ プロテクト 回転 音声メモ... 全消去 オートプレイ プリント指定	画像に音声を追加します。	129
全消去 プロテクト 回転 音声メモ 全消去... オートプレイ プリント指定	CFカードに記録されている画像をすべて消去します。（プロテクトされている画像を除く）	134
オートプレイ 回転 音声メモ 全消去 オートプレイ... プリント指定 送信指定	記録した画像を自動再生します。	131

付録

項目・画面	内容	参照先
プリント指定	画像をダイレクト対応プリンターまたはラボプリントサービスでプリントするとき、プリントする画像の選択や枚数を指定します。	155
送信指定	お使いのメールソフトで送信する画像を、あらかじめカメラで指定します。	164

設定メニュー

項目・画面	内容	参照先
電子音	シャッターボタンを押したときや、メニュー操作をしたときに、電子音を鳴らすかどうかを設定します。 詳しくは「[(設定)]メニューの[電子音]と、[(マイカメラ)]メニューの音の各設定について」(p. 183)をご覧ください。 ・入* ・切 ただし、エラー時の警告音は、[切]にしても鳴ります。	–

* 初期設定

項目・画面	内容	参照先
節電	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。 ・入* ・切	30
日付/時刻	日付、時刻、日付スタイルを設定します。	26
カードの初期化	CFカードを初期化します。	135
シャッター音量	シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。 ・(切) ・(1) ・(2)* ・(3) ・(4) ・(5)	40

付録

項目・画面	内容	参照先
再生音量	動画再生時、音声メモの音量を調節します。 ・□□□□□（切） ・■□□□□（1） ・■■□□□（2）* ・■■■□□（3） ・■■■■□（4） ・■■■■■（5）	123 129
起動音量	カメラ起動時の音量を調節します。 ・□□□□□（切） ・■□□□□（1） ・■■□□□（2）* ・■■■□□（3） ・■■■■□（4） ・■■■■■（5）	30
操作音量	操作音の音量を調節します。 ・□□□□□（切） ・■□□□□（1） ・■■□□□（2）* ・■■■□□（3） ・■■■■□（4） ・■■■■■（5）	−
セルフタイマー音	撮影2秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。 ・□□□□□（切） ・■□□□□（1） ・■■□□□（2）* ・■■■□□（3） ・■■■■□（4） ・■■■■■（5）	85

* 初期設定

項目・画面	内容	参照先
番号リセット機能 番号リセット機能 入 切 m/cm 日本語	ファイル番号の付け方を設定します。 ・入 ・切*	117
距離表示 距離表示 切 m/cm ft/in 日本語 NTSC	MFインジケーターの距離表示の単位を設定します。 m/cm* ft/in	116
言語 言語 切 m/cm 日本語 NTSC	液晶モニターのメニューやメッセージを、どの言語で表示するかを設定します。 ・English ・Italiano ・Deutsch ・Norsk ・Français ・Svenska ・Nederlands ・Español ・Dansk ・汉语 ・Suomi ・日本語* 画像の再生時に、**SET**ボタンを押しながら**MENU**ボタンを押しても、表示する言語を変更できます。(プリンター接続時を除く)	28

付録

項目・画面	内容	参照先
ビデオ出力方式	ビデオ出力方式を設定します。 ・NTSC* ・PAL	166

マイカメラメニュー

このカメラでは、セット、起動画面、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を選べます。また各項目の[ ]、[ ]、には、CFカードに記録された画像や、新たに録音した音声をマイカメラコンテンツとして、その場ですぐにカメラに登録できます。
また同梱のソフトウェアを使ってパソコンにある画像や音声を登録したり、Canon Image Gatewayから、同梱のソフトウェアを通じて、コンテンツをダウンロードし、登録することもできます。詳しくは、同梱のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

項目・画面	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音に共通するテーマを選びます。*1 （切） 1 * 2 3	52

* 初期設定

項目・画面	内容	参照先
起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。 （切） * 	52
起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。*[1] （切） * 	52
操作音	シャッター以外のボタンを操作したときの音を選びます。*[1] （切） * 	52
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で2秒前をお知らせする音を選びます。*[1] （切） * 	52

* 初期設定

項目・画面	内容	参照先
シャッター音	シャッターを全押ししたときの音を選びます。動画再生時には、シャッター音は鳴りません。*1 （切） 1 * 2 3	52

***1 [(設定)]メニューの[電子音]と、[(マイカメラ)]メニューの音の各設定について**

起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を消すときは、[電子音]を[切]にしてから、音の各設定を個別に[切]にします。[電子音]が[入]になっていると、音の各設定が[切]になっていても、電子音が鳴ります。

詳しくは、下の表をご覧ください。

		[(設定)]メニューの[電子音]の設定	
		[入]	[切]
[(マイカメラ)]メニューの音の各項目の設定（[起動音]/[シャッター音]/[操作音]/[セルフタイマー音]）	[切]	○[電子音]	×
	[1]	○[1]	○[1]
	[2]	○[2]	○[2]
	[3]	○[3]	○[3]

○：[ ]の音が鳴る

×：鳴らない

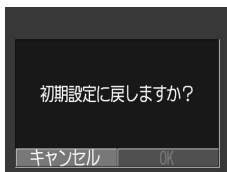
設定を初期状態に戻す

[日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定をすべて初期設定に戻します。

1 カメラの電源を入れます

- 撮影モード、再生モードのどちらでも構いません。

2 **MENU**ボタンを5秒以上押しつづけます

- 液晶モニターに、「初期設定に戻しますか?」のメッセージが表示されます。

3 左/右ボタンで[OK]を選び、**SET**ボタンを押します

- 初期化中は下のような画面が表示され、初期化が終わると通常画面に戻ります。

- 初期設定に戻すのをやめるときは、[キャンセル]を選びます。

- マニュアルホワイトバランスで記憶した白データは、初期設定に戻りません。➔ p. 107
- パソコン接続時、別売のカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)、またはカメラダイレクト対応BJプリンタ接続時は初期状態に戻せません。

メッセージ一覧

液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。

メッセージ	内容
処理中…	：撮影した画像をCFカードに記録しています。再生モードを起動中です。
カードがありません	：CFカードがカメラに入っていないときに、撮影や再生をしようとしました。
記録できません	：CFカードがカメラに入っていないのに撮影しようとしました。
カードが異常です	：CFカードに異常があります。
カードがいっぱいです	：CFカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上画像を記録できません。または、これ以上プリント指定を保存できません。
ファイル名が作れません	：カメラが作成しようとするディレクトリと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでにファイル番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。撮影メニューで[番号のリセット機能]を[入]に設定してください。必要な画像をパソコンに取り込んだ後、CFカードを初期化してください。なお、初期化すると、CFカード内の画像およびデータはすべて消去されます。
バッテリーを交換してください	：電池の容量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに4本ともすべて新しい単3形アルカリ電池(p. 20)に交換するか、充電された充電池に交換してください。

付録

画像がありません	：CFカードに画像が記録されていません。
画像が大きすぎます	：3200×2400画素より大きなサイズの画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。
互換性のないJPEGです	：互換性のないJPEGフォーマットの画像を再生しようとしました。
データが壊れています	：データが破壊されている画像を再生しようとしました。
RAW	：RAW形式で記録された画像を再生しようとしました。
認識できない画像です	：動画や特殊なフォーマット（他社カメラ特有の記録フォーマットなど）で撮影した画像を再生しようとしました。
拡大できない画像です	：別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんパソコンに取り込んで加工した画像を拡大しようとしました。
回転できない画像です	：別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんパソコンに取り込んで加工した画像を回転させようとしました。
互換性のないWAVEです	：録音済みの音声メモの形式が正しくないので、この画像に追加録音できません。
登録できない画像です	：このカメラ以外で撮影した画像を起動画面に登録しようとしました。
プロテクトされています	：プロテクトされている画像を消去しようとしました。
指定が多すぎます	：プリント指定、送信指定の画像が多すぎます。これ以上指定できません。

指定できない画像です	：JPEG以外のファイルをプリント指定しようとしました。
Exx	：カメラに異常が発生しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

別売のカメラダイレクト対応プリンター（CPシリーズ）でのプリント中に、カメラの液晶モニターに表示されるメッセージには、以下のものがあります。（プリンターによって、表示されないメッセージもあります。）

メッセージ	内容
ペーパーがありません	ペーパーカセットが正しく入っていないか、ペーパーカセット内にペーパーがありません。
インクがありません	インクカセットが入っていません。またはインクカセットのインクがありません。
指定外のペーパーです	このカメラでプリントできないサイズのペーパーがプリンターに取り付けられました。
指定外のインクです	このカメラでプリントできない種類のインクカセットがプリンターに取り付けられました。
インクカセットが異常です	インクカセットに異常があります。
ペーパーとインクが不一致です	ペーパーとインクの組み合わせが正しくありません。
ペーパーが詰まりました	プリント中にペーパーが詰まりました。
ペーパーが変更されています	プリントスタイルメニュー表示時からプリントを開始するまでの間に、ペーパーのサイズが変わりました。
プリンターバッテリー切れです	プリンターの電池がありません。
通信エラー	通信中にエラーが発生しました。
トリミングの再設定が必要です	トリミング設定時と異なるスタイルでプリントしようとしました。
プリントできない画像です	別のカメラ、もしくは異なるフォーマットで撮影した画像、または、パソコンに取り込んで加工した画像をプリントしようとしました。
プリントできない画像がXX枚ありました	別のカメラで撮影した画像、またはパソコンに取り込んで加工した画像を××枚、DPOF設定でプリントしようとしました。

カメラダイレクト対応BJプリンタに接続しているときは、以下のメッセージも表示されることがあります。（プリンターによって、表示されないメッセージもあります。）

BJプリンタに表示されるエラー番号を確認し、BJプリンタの使用説明書も合わせてご覧ください。

（機種によっては、メッセージやエラー番号が表示されません。）

プリンターは使用中です	：パソコン、またはプリンターに差し込まれたメモリーカードからプリントしています。プリントが終了すると自動的に、カメラ内の画像のプリントを開始します。
プリンターは準備中です	：プリンターを準備しています。準備が終了すると、自動的にプリントを開始します。
プリントヘッド未装着	：プリントヘッドが取り付けられていません。
プリンターカバーが開いています	：プリンターのフロントカバーを閉じてください。
ペーパーの種類が違います	：プリンターで使用できないペーパーを選んでいます。カメラの[プリントスタイル]で、使用できるペーパーを選んでください。
紙間レバー位置が不正です	：紙間選択レバー位置を正しい位置にしてください。
インクが残りわずかです	：そろそろインクタンクの交換時期です。新しいインクタンクをご用意ください。エラー画面で[続行]を選ぶと、プリントが再開されます。（このメッセージが表示されない機種もあります。）
廃インクタンクが満杯です	：BJプリンタのリセットボタンを押すとプリントを再開しますが、お早めに修理受付窓口（BJプリンタに付属の一覧を参照）に廃インクタンクの交換を依頼してください。

プリンタートラブル発生	：プリンターの電源を入れ直してください。それでもエラーが表示されるときは、BJプリンタの使用説明書に記載されている最寄りのサービスセンターにご相談ください。

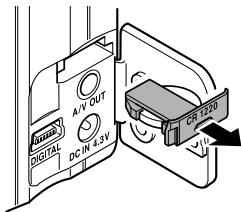
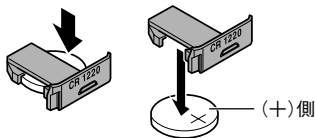
コイン電池を交換する

カメラの電源を入れたとき、日時/時刻の設定メニューが表示された場合は、コイン電池の残量が低下し、日時の設定が消えています。市販のコイン電池(CR1220)をお求めのうえ、次の手順で交換してください。**(最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、ご購入時の電池寿命が規定よりも短くなることがあります。)**

- コイン型リチウム電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の液で胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

1 電源が切れていることを確認します

2 端子カバーを開きます

3 コイン電池ホルダーを矢印の方向に取り出します

4 コイン電池を矢印の方向に取り出します

5 新しいコイン電池を、（＋）側を上にして取り付けます

6 コイン電池ホルダーを元の位置に戻し、端子カバーを閉じます

7 日付/時刻設定メニューが表示されたら、日付/時刻を設定します ➔ p. 26

- カメラをご購入後、はじめて電源を入れたときにも、日付/時刻の設定画面が表示されますが、コイン電池を交換する必要はありません。

電源キット(別売)の使いかた

充電式バッテリーを使う
(バッテリー/チャージャーキット CBK100)

バッテリーチャージャーと単3形ニッケル水素電池4本が入っています。次のようにバッテリーを充電してください。

● 充電中はチャージランプが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。

● このバッテリーチャージャーでは、キヤノン単3形ニッケル水素電池以外の電池を充電しないでください。
● 新しい電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。
● 電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している4本を同時に充電してください。
● 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。
● 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。また、24時間以上連続して充電しないでください。
● 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
● 容量を使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。液晶モニターに「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されるまで使い切ったあと、充電してください。
● 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
  - 電池の使用可能時間が著しく短いとき
  - 記録画像数が著しく少ないとき
  - 電池を充電するとき(さらに、電池の取り付けと取り外しを2〜3回繰り返してから充電してください。)
  - 電池の充電時間が数分程度で終了する(バッテリーチャージャーのチャージランプが点灯する)とき
● 電池の特性により、お買い求め直後や長期間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このと

きは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。

- フル充電の状態で長期間(1年くらい)保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがありますので、カメラでバッテリーを使い切ってから常温(23℃以下)の涼しいところで保管することをおすすめします。また長期間使用しないときは、1年に1回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。
- 電極を拭いてからチャージランプが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン単3形ニッケル水素電池(4本セット)をご購入ください。
- 電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。お使いにならないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

- 完全に放電された状態からフル充電になるまでの時間は、約220分です(当社測定基準による)。0～35℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態により異なります。

Ni-MH

・この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
・この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・この電池の回収・リサイクルについては、下記のキヤノンのホームページで確認できます。
キヤノンサポートページ　http://canon.jp/support/
・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
・リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。
製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
(社)電池工業会 小形二次電池再資源化推進センター
及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*
* 電話番号　03-3434-0261

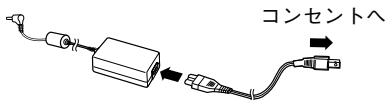
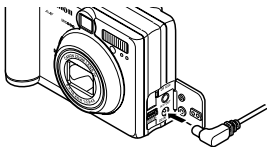
リサイクル時のご注意

・電池を分解しないでください。

ACアダプターキット ACK600を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、コンピューターと接続するときは、ACアダプターキット ACK600(別売)のご利用をおすすめします。

- コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しは、カメラの電源を切ってから行ってください。

1 コンパクトパワーアダプターに電源ケーブルを接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます

2 端子カバーを開き、コンパクトパワーアダプターのDCプラグをカメラのDC IN端子に接続します

- 使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ACアダプターキット ACK600以外の電源キットをお使いになると、カメラやACアダプターキットの故障の原因となることがあります。

レンズ(別売)の使いかた

別売のワイドコンバーター WC-DC52、テレコンバーター TC-DC52、クローズアップレンズ 250D(52mm)を取り付けるときは、別売のコンバージョンレンズアダプター LA-DC52Cが必要です。

- ワイドコンバーター/テレコンバーター/クローズアップレンズを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。
- ワイドコンバーター/テレコンバーター/クローズアップレンズは、絶対に太陽や強烈なライトに向けないでください。失明の恐れがあります。

ワイドコンバーター WC-DC52

広角撮影するためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の約0.7倍になります。(ねじ径52mm)

テレコンバーターTC-DC52

望遠撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の約2.4倍になります。（ねじ径 52mm）

クローズアップレンズ 250D(52mm)

簡単にマクロ撮影をするためのレンズです。マクロモードで、レンズ前面から被写体までが3cm(テレ端では13cm)～25cmの至近距離で撮影できます。

- ワイドコンバーターやテレコンバーターにフィルターやレンズフードは取り付けられません。
- ストロボを使用すると、画像の周辺部(特に画面右下)が暗くなります。
- ファインダーを使用すると、ファインダー内の一部が欠け(ケラレ)て見えます。
- ワイドコンバーターはワイド端の位置でお使いください。
- テレコンバーターは、テレ端の位置でお使いください。それ以外のズーム位置でお使いになると、画像がケラレることがあります。

撮影範囲（マクロモード時）について

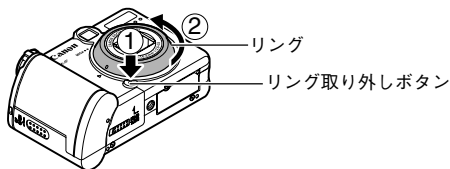
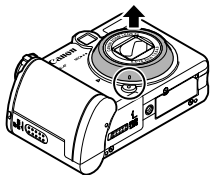
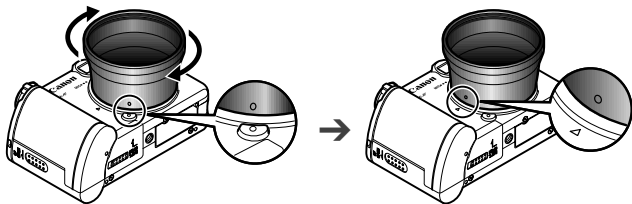
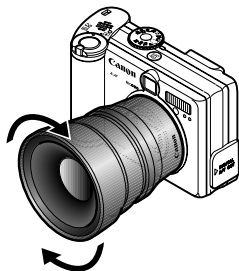
	レンズ前面から被写体までの距離	撮影範囲
テレ端	13cm	48× 36mm
	25cm	82× 61mm
ワイド端	3cm	49× 37mm
	25cm	230×173mm

コンバージョンレンズアダプター LA-DC52C(52mm)

ワイドコンバーターやクローズアップレンズを取り付けるためのレンズアダプターです。

レンズを取り付ける

1 電源が切れていることを確認します

2 リング取り外しボタンを押しながら、リングを矢印の方向に回します

3 カメラの●とリングの●が合ったら、リングを上に引き上げて外します

4 コンバージョンレンズアダプターの●をカメラの●印に合わせてから、▲印のところまで矢印の方向に回して取り付けます

5 レンズを矢印の方向に回して確実に取り付けます

- ご使用前には、レンズ面のゴミをブロワーブラシなどで完全に取り除いてください。ゴミが付いていると、ゴミにピントが合ってしまいます。
- レンズには、指紋がつきやすいのでご注意ください。
- リングを外すときは、カメラやコンバージョンレンズアダプターを落とさないように注意してください。
- ファインダーを使用すると、ファインダー内の一部が欠け（ケラレ）て見えます。またファインダーでは、画角が確認できませんので、液晶モニターをお使いください。
- レンズを取り付けて⧉で撮影した画像は、パソコンを使ってパノラマ画像合成ソフト「PhotoStitch」で正しく合成できません。

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では、日本国内で採用しているNTSC方式に設定されていますが、海外の別方式(PAL方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア(一部地域を除く))に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください 。➔ p. 166

電源について

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーは、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります(1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります)。変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

■海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラディシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトルコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

- ACアダプターキットやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると故障のおそれがありますので使用しないでください。
- このカメラの保証書は、国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談窓口」にご相談ください。

カメラのお手入れ

カメラやレンズ、ファインダー、液晶モニターなどが汚れたときは、次の方法でクリーニングしてください。

カメラ	：やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。
レンズ	：市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ったあと、やわらかい布で軽く拭き取ってください。 ● カメラやレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター（別紙の「修理サービスご相談窓口」をご参照ください）にご相談ください。
液晶モニター、ファインダー	：市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。 ● 液晶モニターの表面を強くこすったり、押したりすると、表面にキズがつきますので、ご注意ください。

- 絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

故障かなと思ったら

現　象	原　因	対　処
カメラが動作しない	電源が入っていません。	●メインスイッチをしばらく押してください。
	バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーが開いています。	●バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。
	電池が逆向きに入っています。	●電池を、正しい方向で入れ直してください。
	電池の電圧が足りません。	●未使用の電池、または十分に充電した電池に4本とも交換してください。 ●AC電源を使用してください。
	不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池または、キヤノンの単3形ニッケル水素電池を入れてください。 (アルカリ電池について ➡p. 21)
	カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。
撮影ができない	再生モードになっています。	●撮影モードにしてください。

現　　象	原　　因	対　　処
撮影ができない	ストロボが充電中です。	●充電が完了すると、ランプが橙色に点灯しますので、シャッターボタンを押してください。
	CFカードの容量がありません。	●新しいCFカードを入れてください。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
	CFカードが正しくフォーマットされていません。	●CFカードを初期化してください。（CFカードを初期化する ➡ p. 135） ●CFカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
レンズが出たままで収納されない	メインスイッチを入れたまま、バッテリーカバーまたはCFカードスロットを開けようとしました。	●バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを閉じた後、メインスイッチを切ってください。
	CFカードへの記録中に、バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを開けようとしました。（警告音が鳴ります。）	●バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを閉じた後、メインスイッチを切ってください。

現　　象	原　　因	対　　処
電池の消耗が早い	不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池または、キヤノンの単3形ニッケル水素電池を入れてください。 （アルカリ電池について ➡p. 21）
	周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	●温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。
	電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。
	1年以上お使いにならなかったために、充電池の容量が低下しています。	●フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
	充電池の寿命です。	●4本ともすべて新しい充電池と交換してください。
別売のバッテリーチャージャーで充電できない	電池が逆向きに入っています。	●電池を正しい方向で入れ直してください。
	充電池とバッテリーチャージャーの接触不良です。	●充電池をバッテリーチャージャーにしっかりとセットしてください。 ●電源ケーブルをバッテリーチャージャーのコネクターとコンセントにしっかり差し込んでください。
	電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてから充電してください。

現　象	原　因	対　処
充電できない	充電池の寿命です。	●4本ともすべて新しい充電池と交換してください。
画像がぼやけている ピントがあまい	カメラが動いています。	●シャッターボタンを押すときに、カメラを動かさないように注意してください。
	AF補助光投光部が何かで覆われているため、オートフォーカスが機能していません。	●AF補助光投光部に、指などがかからないように注意してください。
	AF補助光投光の設定が[切]になっています。	●AF補助光投光の設定を[入]にしてください。 （➡ p. 176）
	被写体がピントの合う範囲からはずれています。	●被写体から46cm以上離してください。 ●被写体から5～46cm（ワイド端）/26～46cm（テレ端）の距離で撮影するときは、マクロモードで撮影してください。
	ピントが合いにくい被写体です	●フォーカスロックかマニュアルフォーカスで撮影してください。 （「ピントが合いにくい被写体を撮る」➡ p. 114)
撮影した画像の被写体が暗すぎる	撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを常時発光にしてください。
	被写体が周辺部に比べて暗すぎます。	●露出補正値をプラス側に設定してください。またはスポット測光をお使いください。

現　　象	原　　因	対　　処
撮影した画像の被写体が暗すぎる	被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から4.2m（ワイド端）/2.5m（テレ端）以内に近づけてください。
撮影した画像の被写体が明るすぎる	被写体が近すぎて、ストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から26cm以上離してください。
	被写体が周辺部に比べて明るすぎます。	●露出補正値をマイナス側に設定してください。またはスポット測光をお使いください。
	照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
	ストロボが常時発光になっています。	●ストロボを常時発光以外にしてください。
液晶モニター上に縦に赤い帯が表示される	被写体が極端に明るすぎます。	●CCD特有の現象で、カメラの故障ではありません。（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）
画像に白い点などが写る	ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。 特に以下の条件で目立ちやすくなります。 - ワイド側で撮影した場合 - 絞り優先AEで絞り数値を大きくして撮影した場合	●デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

現　象	原　因	対　処
ストロボが発光しない	ストロボが発光禁止になっています。	●ストロボを発光禁止以外にしてください。
テレビに出力できない	お使いの地域のビデオ出力形式に合っていません。	●正しいビデオ出力形式（NTSCまたはPAL）に合わせてください。
	撮影モードダイヤルが（スティッチアシスト）になっています。	●撮影モードダイヤルを以外にしてください。
ズームの操作ができない	動画撮影中にズームレバーを操作しました。	●動画を撮影する前にズームを操作してください。
CFカードからの画像の読み出しが遅い	違う機器で初期化したCFカードが入っています。	●このカメラで初期化したCFカードをお使いください。 ➡「CFカードを初期化する（p. 135）」参照
CFカードへの画像の記録時間が長い		

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot A70 / PowerShot A60		
カメラ部有効画素数	A70	約320万画素
	A60	約200万画素
撮像素子	A70	1/2.7型CCD (総画素数 約330万画素)
	A60	1/2.7型CCD (総画素数 約210万画素)
レンズ		5.4(W)-16.2(T)mm 、F2.8(W)-4.8(T) (35mmフィルム換算 35(W)-105(T)mm)
デジタルズーム	A70	最大約3.2倍 (光学ズームと合わせて最大約9.6倍のズームが可能)
	A60	最大2.5倍 (光学ズームと合わせて最大7.5倍のズームが可能)
光学ファインダー		1次結像式実像光学ズームファインダー
液晶モニター		1.5型低温ポリシリコンTFT LCD 約7.8万画素、視野率約100%
オートフォーカス		TTLオートフォーカス 5点(AiAF) / 1点(AF)(1点時の測距枠:中央固定)
撮影距離		通常撮影時:46cm〜∞ マクロ撮影時:5(W)/26(T)〜46cm
シャッター		メカニカルシャッター + 電子シャッター
シャッタースピード		15〜1/2000秒 ・15〜1.3秒はシャッタースピード優先モードまたはマニュアルモード時のみ ・1.3秒を超えてからノイズリダクション処理あり
測光方式		評価測光(測距点に連動)/ 中央部重点平均測光 / スポット測光
露出制御方式		プログラムAE/シャッター速度優先AE/絞り優先AE/マニュアル露出
露出補正		±2段(1/3段ステップ)
感度		オート / ISO 50 / 100 / 200 / 400 相当

項目	内容
ホワイトバランス	TTL オートホワイトバランス / プリセットホワイトバランス(太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯H)/ マニュアルホワイトバランス
ストロボ	オート / 常時発光 / 発光禁止 赤目緩和常時発光： 赤目緩和オート / 赤目緩和常時発光 / 発光禁止 赤目緩和発光禁止： 常時発光 / 発光禁止
ストロボ連動範囲	通常撮影　：46cm〜4.2m(W) / 46cm〜2.5m(T) ：マクロ撮影：26〜46cm(W/T)
撮影モード	オート クリエイティブゾーン：プログラム / シャッター速度優先 / 絞り優先 / マニュアル イメージゾーン：ポートレート / 風景 / 夜景 / 高速シャッター / スローシャッター / スティッチアシスト / 動画
連続撮影(A70) (A60)	約2.2画像 / 秒 約2.6画像 / 秒 (ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示のとき)
セルフタイマー	約2秒、約10秒後に撮影
パソコン接続撮影	USB接続時、RemoteCapture(同梱のソフトウェア)で撮影可能
記録媒体	コンパクトフラッシュカード (Type I)
画像ファイルフォーマット	DCF[注1]、DPOF対応
画像記録フォーマット	(静止画)：JPEG (Exif 2.2)[注2] (動画)　：AVI（画像データ：Motion JPEG / 音声データ：WAVE(モノラル)）
圧縮率	スーパーファイン/ファイン/ノーマル
記録画素数(A70)	(静止画)：ラージ　：2048 ×1536画素 ミドル1：1600 ×1200画素 ミドル2：1024 × 768画素 スモール：640 × 480画素 (動画)[注3]：640 × 480画素(約30秒) 320 × 240画素(約3分) 160 × 120画素(約3分)

（A60）	(静止画) ：ラージ ：1600 ×1200画素 ミドル ：1024 × 768画素 スモール： 640 × 480画素 (動画)(注3)：320 × 240画素（約3分） 160 × 120画素（約3分）
再生モード	：シングル再生 インデックス再生（サムネイル9画像）/ 拡大再生（液晶モニター上で最大約10倍に拡大可能）/ オートプレイ / 音声メモ（最長約60秒まで記録可能）/ 専用プリンター（CP-100、CP-10）への画像出力、BJプリンタへの画像出力（ダイレクトプリント）
表示言語	：English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 汉语 / 日本語
マイカメラ（カスタマイズ）機能	：起動画面 / 起動音 / シャッター音 / 操作音 / セルフタイマー音を、以下の方法で設定が可能。 1. このカメラで記録 2. 同梱のソフトウェアやオンラインフォトサービス「Canon Image Gateway」からダウンロード
Canon Image Gateway 対応機能	：同梱のソフトウェアを使って、Canon Image Gatewayの会員登録、画像のアップロード、オンラインアルバムサービス、携帯電話アルバム通知・閲覧サービス、カメラへのマイカメラコンテンツのダウンロード、オンラインプリントサービス、オリジナル写真集作成サービス、ホームプリンティングサービスなどが利用可能
インターフェース	：USB（mini-B、PTP [Picture Transfer Protocol]） 映像 / 音声出力端子（NTSCまたはPAL切換可能、モノラル音声）
電源	：単3形アルカリ電池（同梱） 単3形充電式ニッケル水素電池（別売） ACアダプターキット ACK600（別売）
動作温度	：0〜40℃
動作湿度	：10〜90%
大きさ（幅×高×奥行き）	：101.0×64.0×31.5mm（突起部を除く）
質量	：約215g（本体のみ）

（W）：ワイド端 （T）：テレ端

注1：DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を関連機器で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

注2：このデジタルカメラは、Exif 2.2(愛称「Exif Print」)に対応しています。Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

注3：CFカード FC-256MH(別売)使用時の1回の最長記録時間です。

電池性能について

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニター表示	液晶モニター非表示時	
単3形アルカリ電池(同梱品)	約250画像	約800画像	約280分
単3形ニッケル水素電池(NB-1AH)	約350画像	約1000画像	約280分

* 上記データは当社測定条件によもので、撮影状況、撮影モードなどによっても異なります。

<測定条件>

撮影：常温(23℃)、20秒間隔でワイド端とテレ端撮影を交互に繰り返し、4回に1回ストロボ使用、8回に1回電源をOFF/ON操作

再生：常温(23℃)、1画像あたり3秒間隔で連続再生

● 電池の取り扱いについて ➔ p. 21、195

CFカードの種類と記録画像数の目安

PowerShot A70

		FC-16M	FC-32M	FC-64M	FC-128M	FC-256MH
L	S	8	18	38	76	154
		16	33	68	137	276
		32	67	136	274	548
M1	S	14	30	61	122	246
		26	54	109	219	440
		52	108	217	435	868
M2	S	25	53	107	215	431
		46	94	189	379	762
		84	174	349	700	1390
S	S	58	120	241	482	962
		94	196	393	788	1563
		165	337	676	1355	2720
動画	640	14秒	30秒	61秒	124秒	249 秒
	320	44秒	91秒	183秒	368秒	735秒
	160	118秒	242秒	486秒	973秒	1954秒

PowerShot A60

		FC-16M	FC-32M	FC-64M	FC-128M	FC-256MH
L	S	14	30	61	122	246
		26	54	109	219	440
		52	108	217	435	868
M	S	25	53	107	215	431
		46	94	189	379	762
		84	174	349	700	1390
S	S	58	120	241	482	962
		94	196	393	788	1563
		165	337	676	1355	2720
動画	320	44秒	91秒	183秒	368秒	735秒
	160	118秒	242秒	486秒	973秒	1954秒

- 動画の1回の最長撮影時間は、640：約30秒*(PowerShot A70のみ)、320、160：約3分です。表中の数値は繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

  * 別売のCFカード FC-256MH使用時
- S(スーパーファイン)、(ファイン)、(ノーマル)は、圧縮率を表します。
- **L**(ラージ)、**M1**(ミドル1)、**M2**(ミドル2)、**S**(スモール)、640、320、160は、以下の記録画素数を表します。

	PowerShot A70	PowerShot A60
L(ラージ)	2048×1536画素	1600×1200画素
M1(ミドル1)	1600×1200画素	—
M2(ミドル2)	1024× 768画素	1024× 768画素
S(スモール)	640× 480画素	640× 480画素
640	640× 480画素	—
320	320× 240画素	320× 240画素
160	160× 120画素	160× 120画素

1画像の容量(目安)

PowerShot A70

	S		
L (2048 ×1536)	1602KB	893KB	445KB
M1 (1600 ×1200)	1002KB	558KB	278KB
M2 (1024 × 768)	570KB	320KB	170KB
S (640 × 480)	249KB	150KB	84KB

PowerShot A60

	S		
L (1600 ×1200)	1002KB	558KB	278KB
M (1024 × 768)	570KB	320KB	170KB
S (640 × 480)	249KB	150KB	84KB

ニッケル水素電池 NB-1AH

(別売のニッケル水素電池 NB4-100 またはバッテリー/チャージャーキット CBK100 に同梱)

形式	単3形充電式ニッケル水素電池
公称電圧	DC1.2V
公称容量	1600mAh (最小:1550mAh)
充放電回数	約300回(目安)
使用温度	0〜35℃
大きさ	直径: 14.5mm　長さ: 50mm
質量	約27g

バッテリーチャージャー CB-3AH

(別売のバッテリー/チャージャーキット CBK100 に同梱)

定格入力	AC100〜240V(50/60Hz)/14VA
定格出力	DC1.6V/2A
充電時間	約220分*
使用温度	0〜35℃
大きさ	113X74X27.5mm
質量(本体のみ)	約100g

*NB-1AH 4本の充電時間

コンパクトパワーアダプター CA-PS500

(別売のACアダプターキット ACK600 に同梱)

定格入力	AC100〜240V (50/60Hz)/16VA(100V)〜26VA(240V)
定格出力	DC4.3V/1.5A
使用温度	0〜40℃
大きさ	42.5X104.4X31.4mm
質量(本体のみ)	約180g

コンパクトフラッシュカード

カードスロットタイプ	Type I
大きさ	36.4X42.8X3.3mm
質量	約10g

ワイドコンバーター WC-DC52(別売)

倍率	約0.7倍 (35mmフィルム換算で24.5mm相当<ワイド端>)
撮影距離(レンズ先端より)	約6cm～∞(ワイド端:PowerShot A70/A60装着時)
ねじ径	52mm標準フィルターネジ(PowerShot A70/A60に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52Cが必要)
大きさ	直径: 58mm 長さ: 30.5mm
質量	約74g

テレコンバーター TC-DC52(別売)

倍率	約2.4倍 (35mmフィルム換算で252mm相当<テレ端>)
撮影距離(レンズ先端より)	約20cm～∞(ワイド端:PowerShot A70/A60装着時)
ねじ径	52mm標準フィルターネジ(PowerShot A70/A60に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52Cが必要)
大きさ	直径: 67mm 長さ: 57mm
質量	約74g

クローズアップレンズ 250D 52mm(別売)

焦点距離	250mm
撮影距離(レンズ先端より)	3～25cm(W)/13～25cm(T)(PowerShot A70/A60装着時)
ねじ径	52mm標準フィルターネジ(PowerShot A70/A60に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52Cが必要)
大きさ	直径: 54mm 長さ: 10.2mm
質量	約55ｇ

コンバージョンレンズアダプター LA-DC52C(別売)

ねじ径	52mm標準フィルターネジ
大きさ	直径: 55.6mm 長さ: 28.7mm
質量(本体のみ)	約11g

索引

数字・アルファベット

ア　行

カ　行

サ 行

タ　行

ハ　行

マ　行

ラ　行

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーガイド(本書)に従って正しい取り扱いをしてください。

各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は以下のとおりです。

			AUTO				
記録画素数	ラージ	L	○*	○*	○*	○*	○*
	ミドル1(1)	M1	○	○	○	○	○
	ミドル2(1)	M2	○	○	○	○	○
	ミドル(2)	M	○	○	○	○	○
	スモール	S	○	○	○	○	○
記録画素数	動画(1)	640	－	－	－	－	－
	動画	320	－	－	－	－	－
	動画	160	－	－	－	－	－
圧縮率	スーパーファイン	S	○	○	○	○	○
	ファイン		○*	○*	○*	○*	○*
	ノーマル		○	○	○	○	○
ストロボ	オート	A	○*	○*	○	○*	○*
	常時発光		－	○	○	○	○
	発光禁止		○	○	○*	○	○
赤目緩和			○	○	○	○	○
ストロボ発光量			－	－	－	－	－
AF補助光		AF	○	○	○	○	○
ドライブモード	シングル撮影		○*	○*	○*	○*	○*
	連続撮影		－	○	○	○	○
	10秒セルフタイマー	10	○	○	○	○	○
	2秒セルフタイマー	2	○	○	○	○	○
AF方式の選択		AiAF	－	○	○	○	○
マニュアルフォーカス		MF	－	○	○	○	○
マクロ撮影			○	○	－	○	○
デジタルズーム		入	○	○	○	○	○
		切	○*	○*	○*	○*	○*

			P	Tv	Av	M	参照先
○*	△*	–	○*	○*	○*	○*	66
○	△	–	○	○	○	○	
○	△	–	○	○	○	○	
○	△	–	○	○	○	○	
○	△	–	○	○	○	○	
–	–	○	–	–	–	–	
–	–	○*	–	–	–	–	
–	–	○	–	–	–	–	
○	△	–	○	○	○	○	66
○*	△*	–	○*	○*	○*	○*	
○	△	–	○	○	○	○	
○	–	–	○	–	–	–	69
○	△	–	○	○	○	○	
○*	△*	–	○*	○*	○*	○*	
○	△	–	○	○	○	○	70
–	–	–	–	–	–	○	113
○	△	○	○	○	○	○	41
○*	△*	○*	○*	○*	○*	○*	–
○	–	–	○	○	○	○	89
○	△	○	○	○	○	○	85
○	△	○	○	○	○	○	
○	–	–	○	○	○	○	100
○	–	○	○	○	○	○	116
○	△	○	○	○	○	○	83
○	–	–	○	○	○	○	87
○*	–	–	○*	○*	○*	○*	

	AUTO	ポートレート	風景	夜景	スポーツ
露出補正	－	○	○	○	○
測光方式 評価測光	○	○	○	○	○
測光方式 中央部重点平均測光	－	－	－	－	－
測光方式 スポット測光	－	－	－	－	－
ホワイトバランス(3) WB	－(4)	○	○	○	○
色効果	－	○	○	○	○
ISO感度 ISO	－(5)	－(5)	－(5)	－(5)	－(5)

*初期設定　○:設定可　△:最初の1画像のみ設定可　－:設定不可
　:電源を切っても、解除されません。

[日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻すことができます。➔ p. 185

(1) PowerShot A70のみで選択できます。
(2) PowerShot A60のみで選択できます。
(3) 色効果が[セピア]、[白黒]の場合は設定できません。
(4) ホワイトバランスは[オート]に設定されます。
(5) カメラが自動的に設定します。
(6) ISO[AUTO]は設定できません。